150 人 60 クラス 3 台時間割編成ファイル登録・書き換えマニュアル

＜注意＞

① 「150 人 60 クラス 3 台時間割編成ファイル」の各 4 個ファイルは、次のすべてのソフトで正常に作動します。
Microsoft Office Excel 2024　６４ビット版
Microsoft Office Excel 2021　６４ビット版
Microsoft Office Excel 2019　６４ビット版
Microsoft Office Excel 2016　６４ビット版

しかし、
Microsoft Office Excel 2024　３２ビット版
Microsoft Office Excel 2021　３２ビット版
Microsoft Office Excel 2019　３２ビット版
Microsoft Office Excel 2016　３２ビット版
では作動しません。

②「150 人 60 クラス 3 台時間割編成ファイル」の各 4 個のァイルは、Windows 版上での Excel で作成したもので Mac 版上での Excel では正常に作動することは保証しかねます。また、ssd 搭載のパソコンでは、パーテションをおこない C,D の 2 つのドライブを割り当てないと登録して使用することはできません。

＜目次＞

1．150 人 60 クラス 3 台時間割編成ファイル登録・書き換え
実行前に行うべきこと:・・P2
（1）ファイルのダウンロードとフォルダーの作成およびファイルの保存: ・・・・・・・・・・・・・・・・P2
（2）ディスプレイ設定の詳細設定等:・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
①Windows11 の場合:・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
②Windows10 の場合:・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P7
(1) マクロのセキュリティ設定等:・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P12
① Exel2021 でおこなう場合:・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P12
② Exel2019 でおこなう場合:・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P14
③ Exel2016 でおこなう場合:・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P16

2．150 人 60 クラス 3 台時間割編成ファイル登録・書き換え実行手順: ・・・・・・・・・・・・・・・・・・P19

3．エクセルファイル「150 人 60 クラス時間割システム 3 台登録 Ver1.xlsm」のユーザーフォームの表示設定について:・・P20
（1）Winndows11 または Windows10 の場合:・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P20
（2） Windopws8.1 の場合:・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P27

4．エクセルファイル「150 人 60 クラス時間割システム制御 3 台登録 Ver1.xlsm」のユーザーフォームの表示設定について:・・・P35
（1） Winndows11 または Windows10 の場合:・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P35
（2）Windopws8.1 の場合:・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P39

１．150 人 60 クラス３台時間割編成ファイル登録・書き換え

実行前に行うべきこと：

（1）ファイルのダウンロードとフォルダーの作成およびファイルの保存

150 人 60 クラス３台時間割編成ファイルの登録・書き換え実行前に、ダウンロードフォルダーを整理して空にしておき、私共のホームページのページより、次の４個のファイルをダウンロードして、一旦ダウンロードフォルダーに保存し、その後、「150 人 60 クラス３台時間割編成ファイル」を使用し登録・書き換えを行うパソコンの D ドライブに適当なフォルダーを作成し、例えばフォルダー「150 人 60 クラス３台時間割編成ファイル」を作成し、そのフォルダーに複写します。

150ninn60kurasujikannwarisisutemu3daitourokuver1.xlsm

150ninn60kurasujikannwarisisutemukannibann3daitourokuver1.xlsm

150ninn60kurasukomanyuuryokusisutemu3daitourokuver1.xlsm

150ninn60kurasujikannwarisisutemuseigyo3daitourokuver1.xlsm

また、私どもよりメールの添付ファイルとして送信した登録・書き換えインストールするための２つのファイル

「2010 時間割編成システム（３台 2010 インストールファイル複写無し）.xlsm」

「2010 時間割編成システム PC３台ナンバー登録及びシステム購入申込書 2010（インストール用）.xlsm」

と２つのマニュアル

「150 人 60 クラス３台時間割編成ファイルの登録・書き換えマニュアル.pdf」

「150 人 60 クラス３台時間割編成ファイルの使用マニュアル.pdf」

もフォルダー「150 人 60 クラス３台時間割編成ファイル」に保存しておいてください。

（2）ディスプレイ設定の詳細設定等：

「150 人 60 クラス３台時間割編成ファイル」の登録・書き換え操作を行なう場合、ユーザーフォームの表示を適正な表示にするために、OS が Windows11 や Windiws10 の PC で行う場合には、事前にディスプレイ設定の詳細設定を次のようにしておこなってください。

ただし、OS が Wndows8.1 の PC を用いて行う場合にはこの設定は不要です。

① Windows11 の場合：

次の[図1]画面は私どもが使用している windows11 の OS が搭載された PC のデスクトップの画面です。

[図1]

上のデスクトップで右クリックすると次の[図2]の画面ようなメニューが表示されます。

[図2]

上のメニュー部分を拡大表示すると

のようになっています。このメニューで

をクリックすると次の[図 1]画面が表示されます。

[図 1]

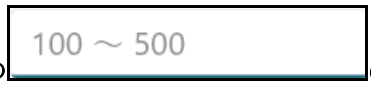
上の[図 1]の画面の

の部分の右側の

部分の をクリックすると次の[図4]の画面になります。

[図4]

そして上の[図4]の画面における

の部分の右側の 

の部分を選択して

と入力してこの右側の をクリックすると次の[図5]の画面になります。

[図5]

そして上の[図5]画面の

の部分の右側の

の部分文字をクリックするとサインアウトの画面が表示され、その画面で pin の値を入力すると次の[図6]のデスクトップの画面になります。

[図6]

が表示されます。

②Windows10 の場合：

次の[図7]画面の私どもが使用している PC のデスクトップの画面です。

[図7]

デスクトップで右クリックすると次の[図8]画面のようなメニューが表示されます。

[図8]

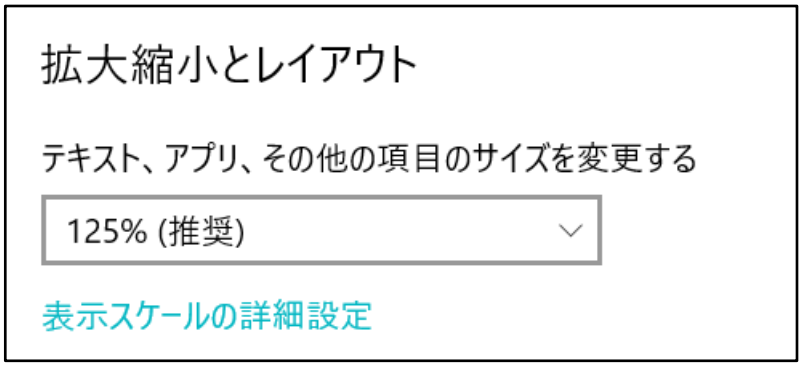
上の[図8]画面のメニュー部分を拡大表示すると

のようになっています。このメニューで

をクリックすると次の[図 9]画面が表示されます。

[図 9]

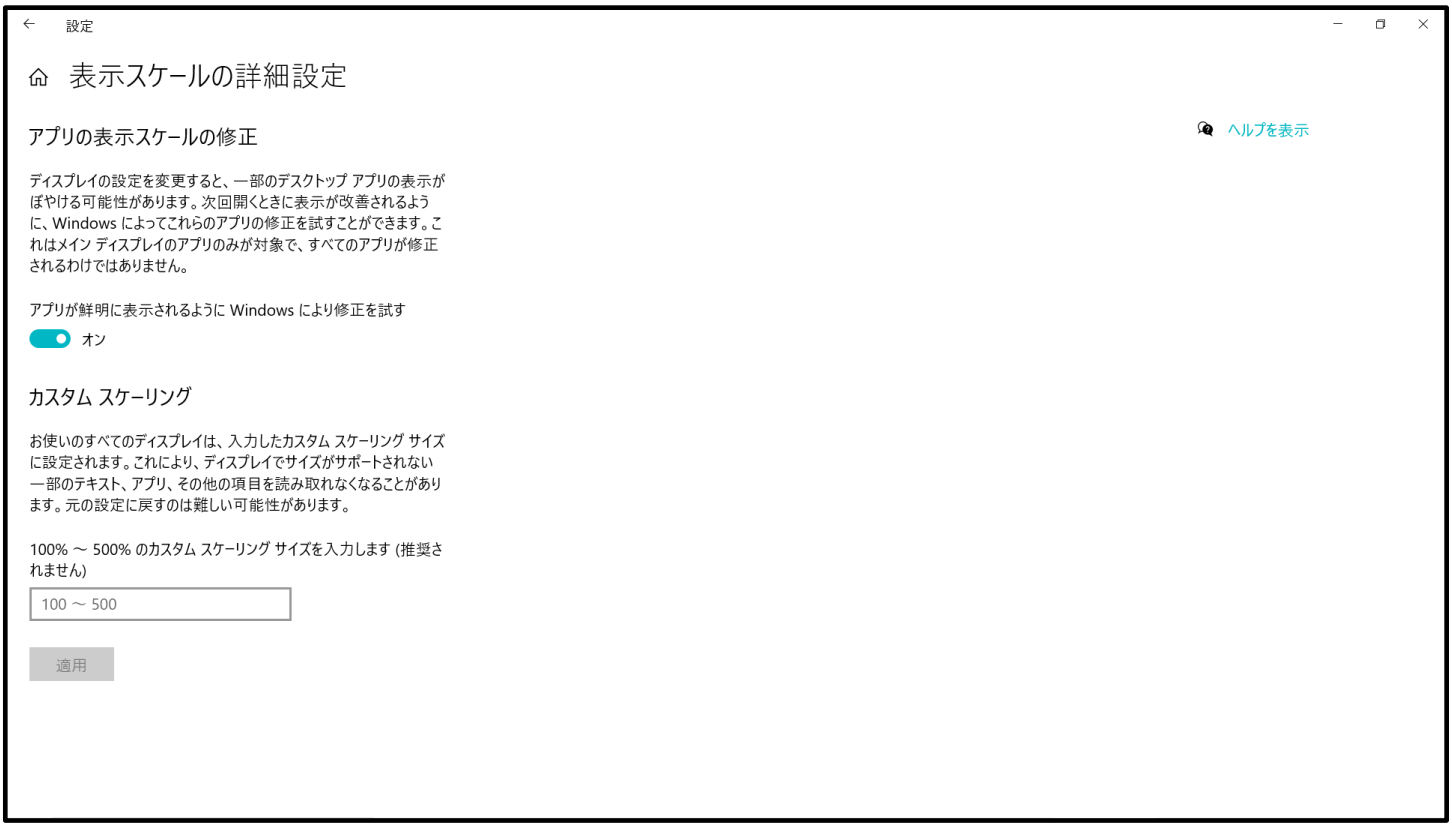
上の[図 9]画面の



の部分の

をクリックすると次の[図 10]画面が表示されます。

[図 10]



上の[図 10]画面の

の部分で、

と入力して

をクリックすると下の[図11]の画面になります。

[図11]

上の[図11]の画面の

の部分の

をクリックし
Pin の値もしくは Mikurosoft のアカウントのパスワードを入力してサインアウトするとデスクとトップの画面になります。私の場合のデスクトップの画面は次の[図１２]画面でこの画面に戻りました。

[図１２]

(1) マクロのセキュリティ設定等：

必ず次のようにマクロのセキュリティ等を設定してください。このように設定しておかないと登録・ファイル名の書き換えが正常に実施できません。しかも登録・ファイル名書き換えを行なうファイル「2010 時間割編成システム（3 台 2010 インストールファイル複写無し）.xlsm」が破損されてしまい、２度とこの登録・ファイル名書き換えファイルは使えなくなります。

セキュリティの設定を誤って登録・ファイル名書き換え処理を実行してしまうことも考えられますので、ファイル

「2010 時間割編成システム（3 台 2010 インストールファイル複写無し）.xlsm」

は、登録・ファイル名書き換え処理を実行するフォルダー「150 人 60 クラス 3 台時間割編成ファイル」以外にもフォルダーを作成し、そのフォルダーにも登録・ファイル名書き換え処理を実行する前に必ずコピーして予備とし保存おいてください。

① Exel2021 でおこなう場合：

まず、Excel2021 を起動し、ファイル→オプション→Excel のオプション→リボンのユーザー設定→

メインタブの「開発」にチェックを入れ開発タブを表示させてください。そしたら

タブ開発→マクロのセキュリティと選択して「トラストセンター」を表示させます。そして、「トラストセンター」における ActiveX の設定、マクロの設定、保護ビュー、メッセージバー、外部コンテンツで次のように設定します。

ActiveX の設定

トラスト センター

- 信頼できる発行元
- 信頼できる場所
- 信頼済みドキュメント
- 信頼できるアドイン カタログ
- アドイン
- ActiveX の設定
- マクロの設定
- 保護ビュー
- メッセージ バー
- 外部コンテンツ
- ファイル制限機能の設定
- プライバシー オプション
- フォームベースのサインイン

すべての Office アプリケーションに適用する ActiveX の設定

- ○ 警告を表示せずにすべてのコントロールを無効にする(D)
- ○ 先に確認メッセージを表示してから、初期化に危険が伴うコントロールには制限を強化し、初期化しても安全なコントロールには最低限の制限を適用して有効にする(R)
- ○ 先に確認メッセージを表示してから、最低限の制限を適用してすべてのコントロールを有効にする(P)
- ● 確認メッセージを表示せずに、すべてのコントロールを制限なしに有効にする (推奨しません。危険なコントロールが実行される可能性があります)(E)

☐ セーフ モード (コンピューターに対するコントロールのアクセスを制限します)(S)

マクロの設定

トラスト センター

- 信頼できる発行元
- 信頼できる場所
- 信頼済みドキュメント
- 信頼できるアドイン カタログ
- アドイン
- ActiveX の設定
- マクロの設定
- 保護ビュー
- メッセージ バー
- 外部コンテンツ
- ファイル制限機能の設定
- プライバシー オプション
- フォームベースのサインイン

マクロの設定

- ○ 警告を表示せずにすべてのマクロを無効にする(L)
- ○ 警告を表示してすべてのマクロを無効にする(D)
- ○ デジタル署名されたマクロを除き、すべてのマクロを無効にする(G)
- ● すべてのマクロを有効にする (推奨しません。危険なコードが実行される可能性があります)(E)

開発者向けのマクロ設定

☑ VBA プロジェクト オブジェクト モデルへのアクセスを信頼する(V)

保護ビュー

トラスト センター

- 信頼できる発行元
- 信頼できる場所
- 信頼済みドキュメント
- 信頼できるアドイン カタログ
- アドイン
- ActiveX の設定
- マクロの設定
- 保護ビュー
- メッセージ バー
- 外部コンテンツ
- ファイル制限機能の設定
- プライバシー オプション
- フォームベースのサインイン

保護ビュー

保護ビューでは、セキュリティに関するメッセージを表示せずに、危険性のあるファイルを制限モードで開きます。これは、コンピューターへの悪影響を最小限に抑えるのに役立ちます。保護ビューを無効にすると、コンピューターがセキュリティの脅威にさらされる可能性があります。

- ☐ インターネットから取得したファイルに対して、保護ビューを有効にする(I)
- ☐ 安全でない可能性のある場所のファイルに対して、保護ビューを有効にする(L)
- ☐ Outlook の添付ファイルに対して、保護ビューを有効にする(O)

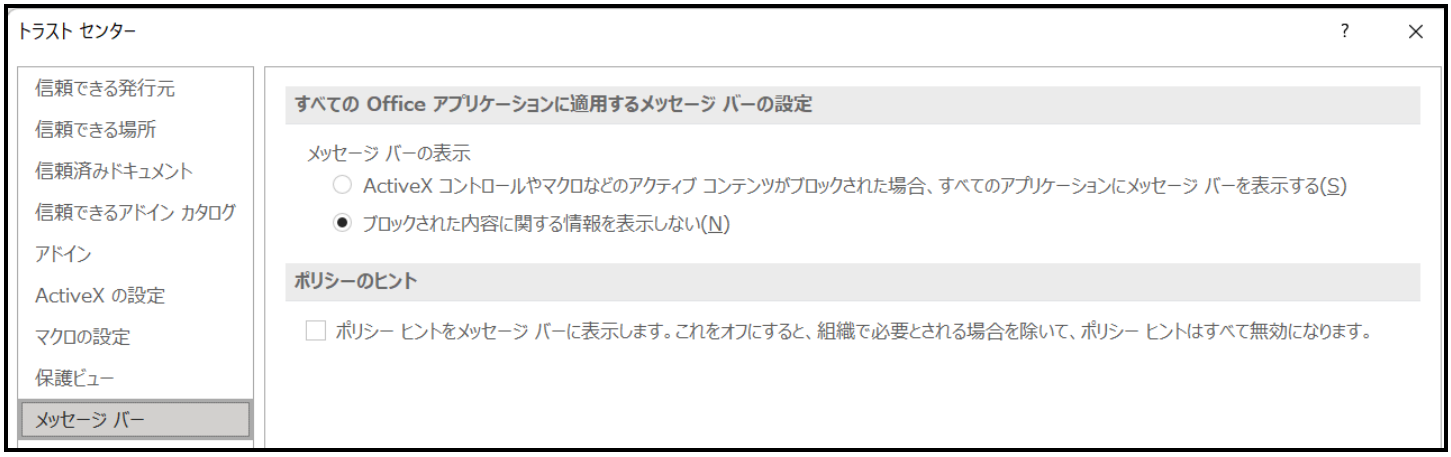
信頼できないソースからのテキストベースのファイル (.csv、.dif、.sylk) を開くためのセキュリティ設定

☐ 信頼されたビューで常に信頼関係のないテキストベースのファイル (.csv、dif、sylk) を開く(T)

信頼できないいソースからのデータベース ファイル (.dbf) を開くためのセキュリティ設定

☐ 信頼されていないデータベースファイル (.dbf) を常に保護ビューで開く(D)

メッセージバー



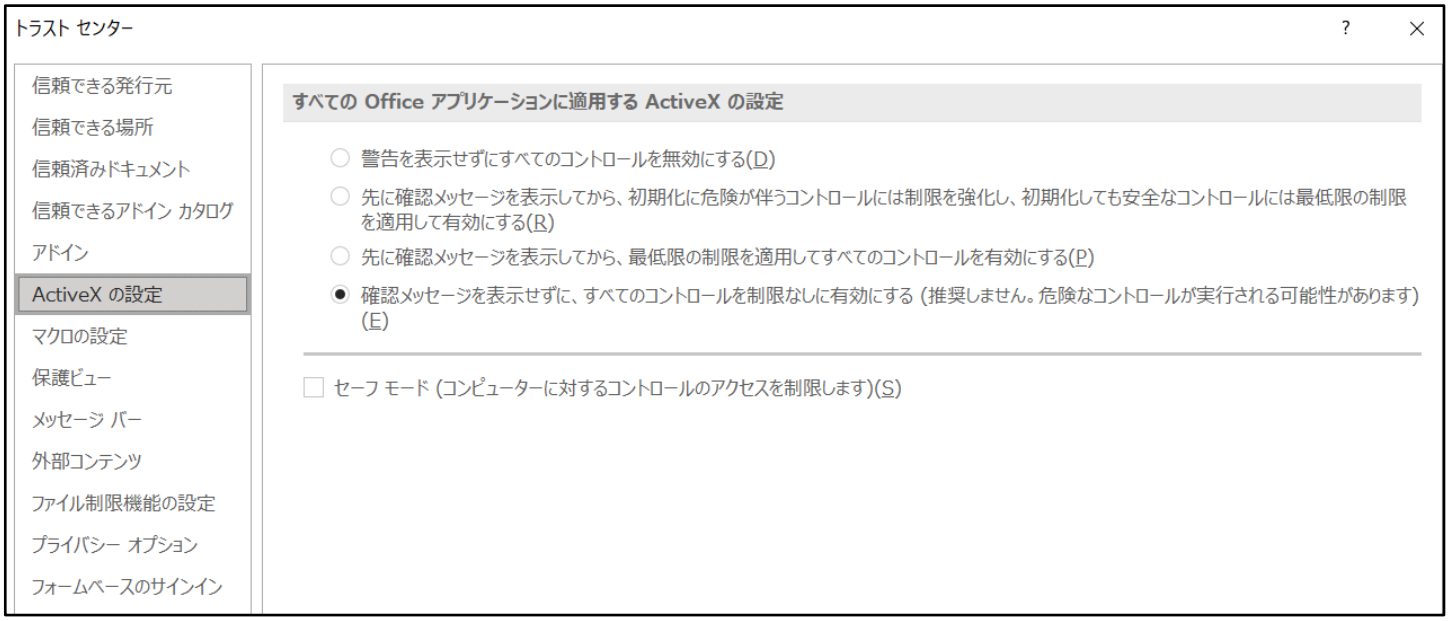
外部コンテンツの設定

② Exel2019 でおこなう場合：

まず、Excel2019 を起動し、ファイル→その他→オプション→Excel のオプション→リボンのユーザー設定 → メインタブと選択して行きメインタブの「開発」にチェックを入れ開発タブを表示させてください。

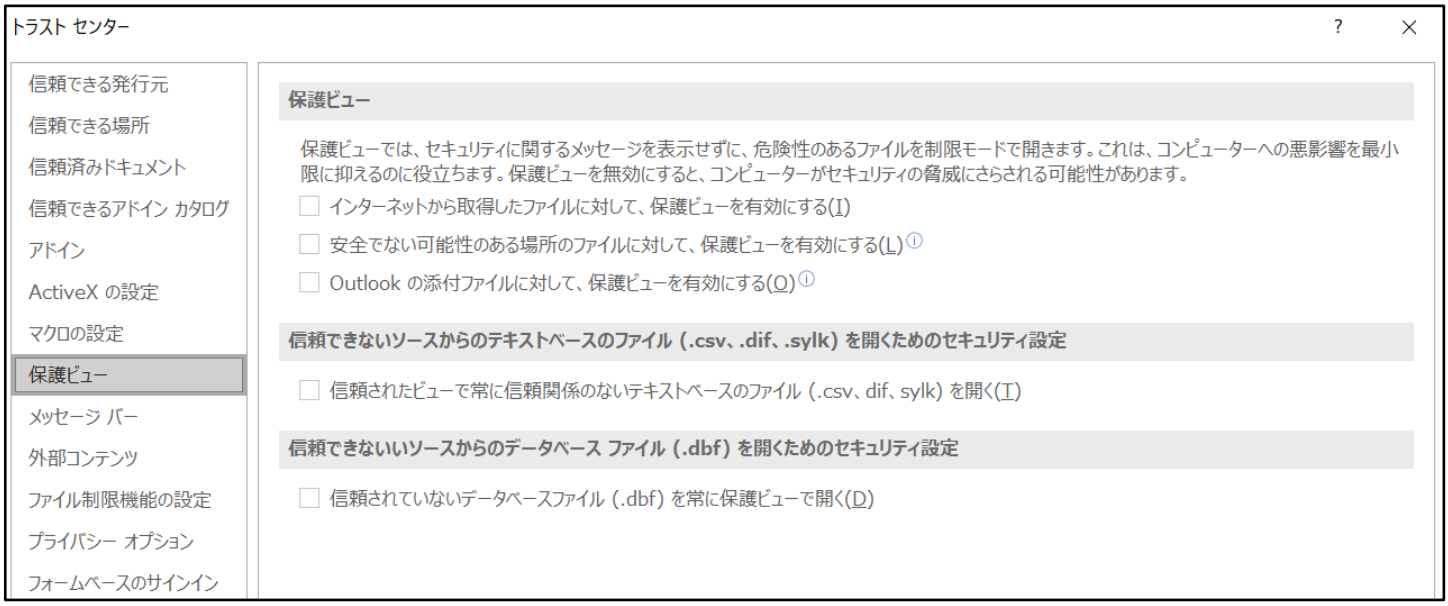
そしたらタブ開発→マクロのセキュリティと選択して「トラストセンター」を表示させます。そして、「トラストセンター」における ActiveX の設定、マクロの設定、保護ビュー、メッセージバー、外部コンテンツでそれぞれの設定を次のようにします。

ActiveX の設定

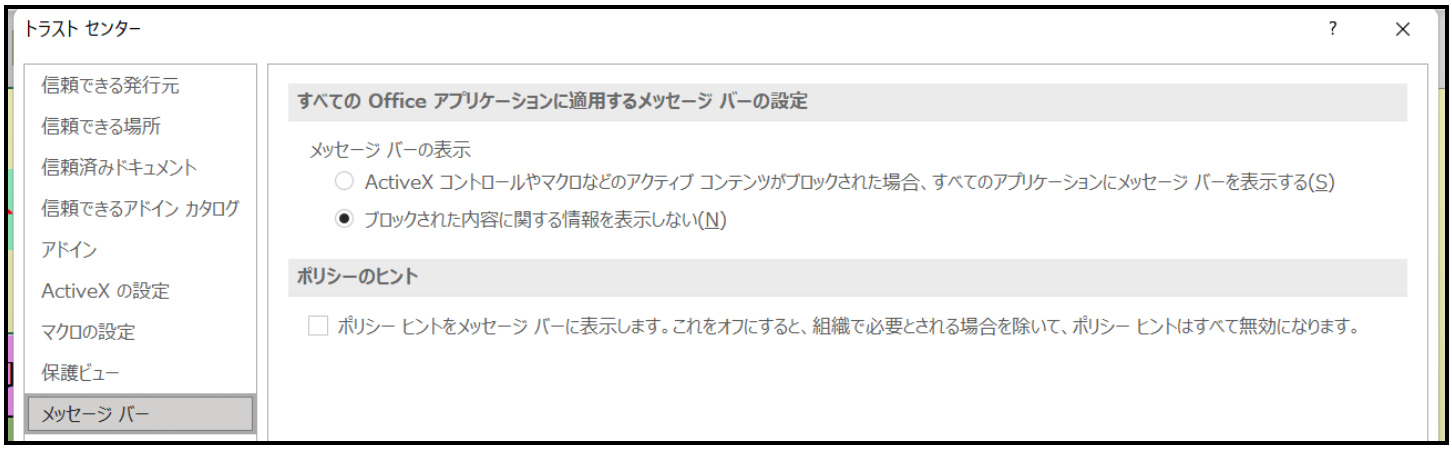


マクロの設定

保護ビュー



メッセージバー



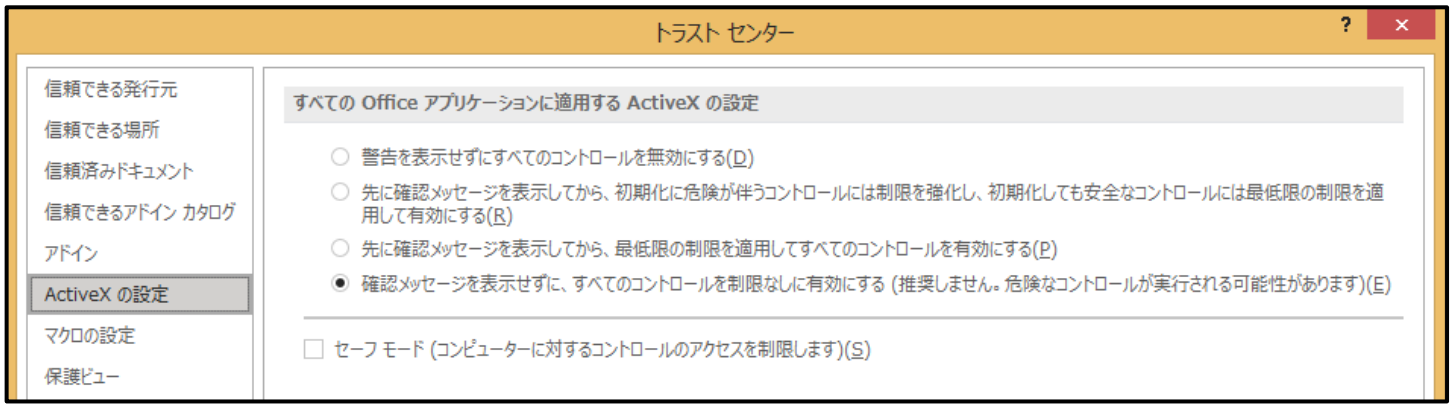
外部コンテンツ

③ Exel2016 でおこなう場合：

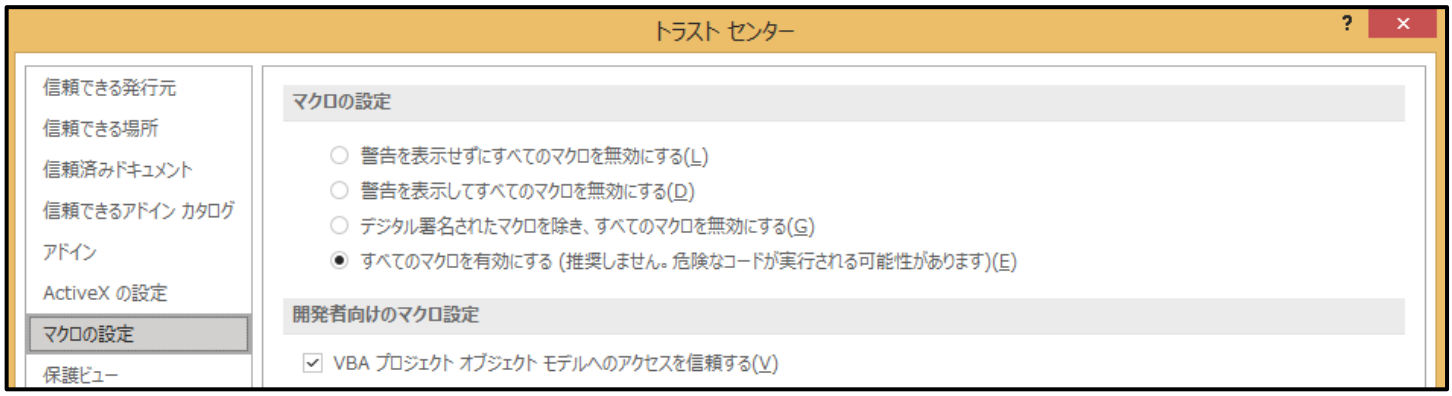
まず、Excel2016 起動し、ファイル→その他→オプション→Excel のオプション→リボンのユーザー設定 → メインタブと選択して行きメインタブの「開発」にチェックを入れ開発タブを表示させてください。

そしたらタブ開発→マクロのセキュリティと選択して「トラストセンター」を表示させます。そして、「トラストセンター」における ActiveX の設定、マクロの設定、保護ビュー、メッセージバー、外部コンテンツでそれぞれの設定を次のようにします。

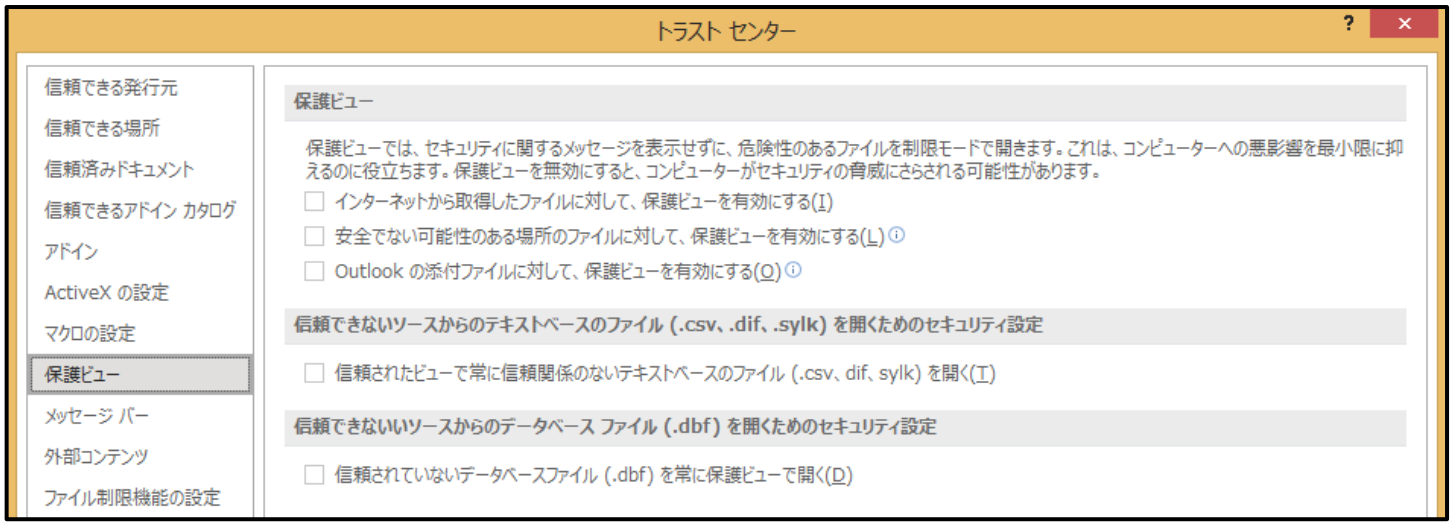
ActiveX の設定



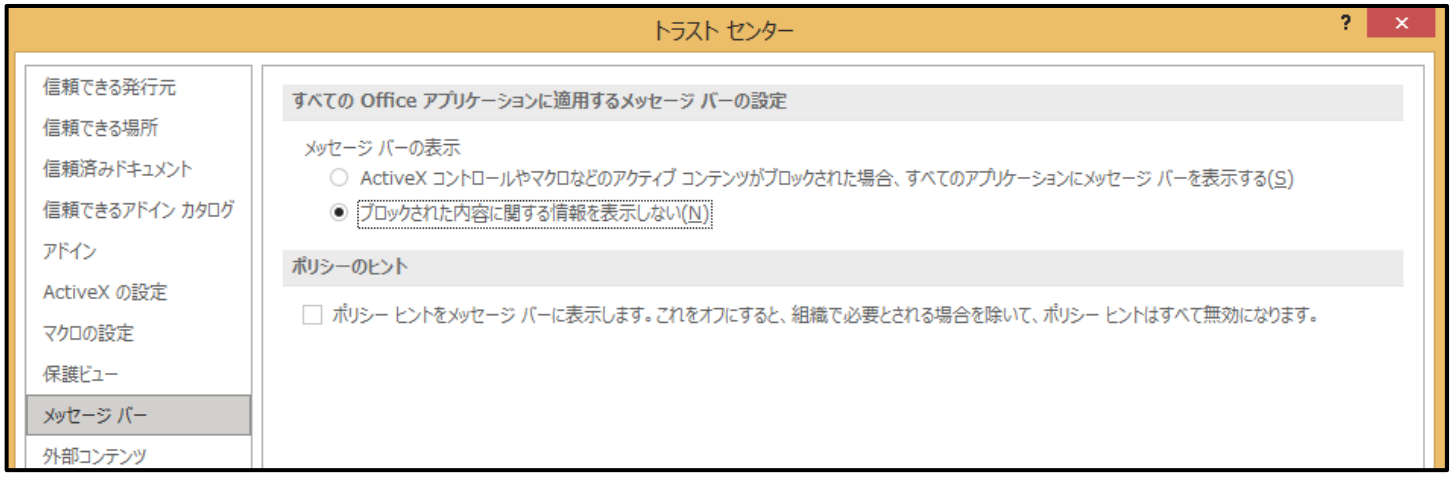
マクロの設定



保護ビュー



メッセージバー



外部コンテンツ

２． 150 人 60 クラス３台時間割編成ファイル登録・書き換え実行手順：

登録・書き換えをおこなう前に、フォルダー「210 人 60 クラス 3 台時間割編成ファイル」内のファイル「2010 時間割編成システム（3 台 2010 インストールファイル複写無し）.xlsm」

を右クリックして「プロパティ」を選択して 全般 をクリックし、下側の

セキュリティ: このファイルは他のコンピューターから取得したものです。このコンピューターを保護するため、このファイルへのアクセスはブロックされる可能性があります。 ☐ 許可する(K)

の部分で

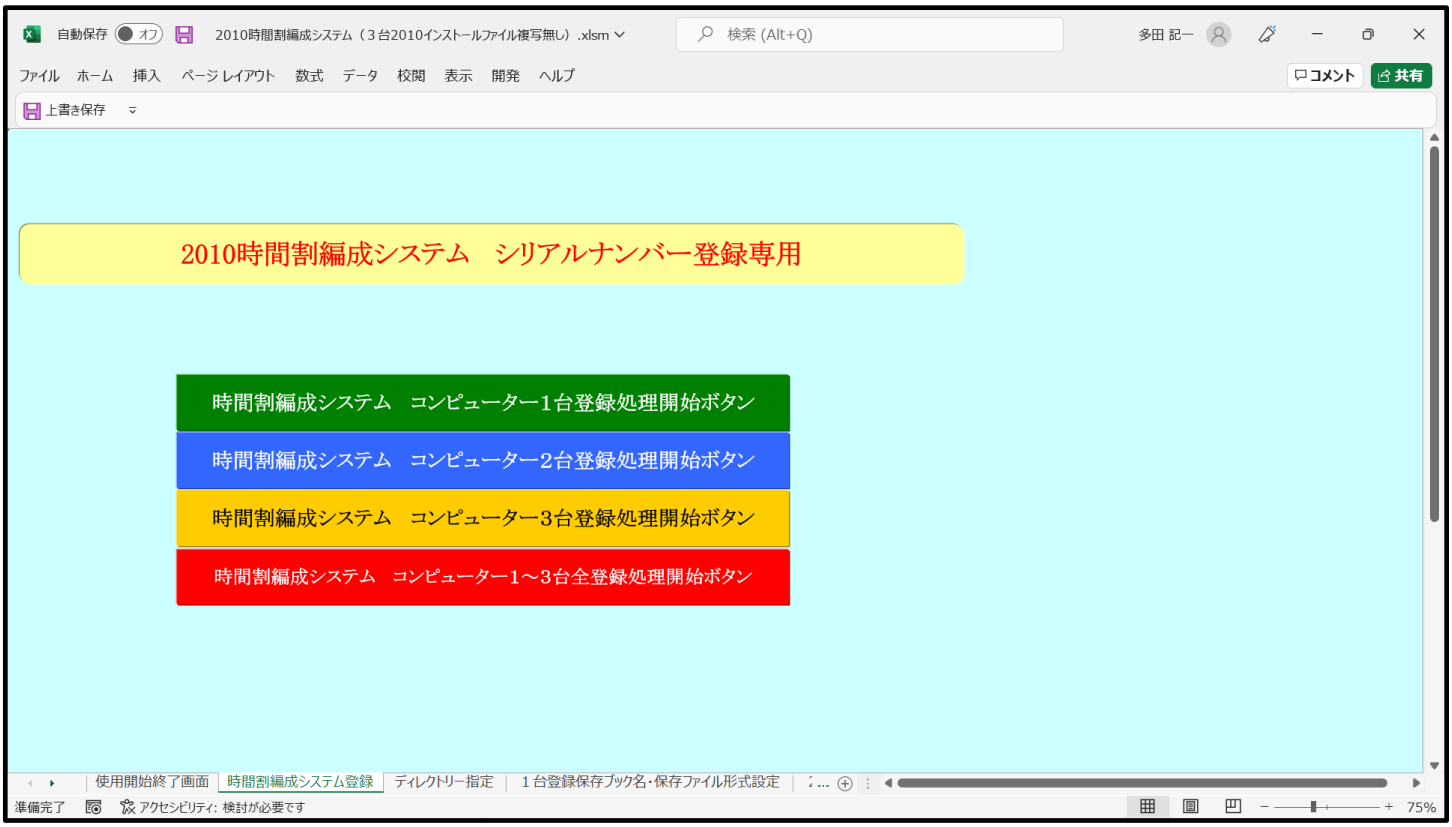
セキュリティ: このファイルは他のコンピューターから取得したものです。このコンピューターを保護するため、このファイルへのアクセスはブロックされる可能性があります。 ☑ 許可する(K)

とチェックを入れて OK をクリックして

ファイルのマクロのブックの解除を必ずおこなってください。

上の１の（１）で保存したフォルダー「150 人 60 クラス 3 台時間割編成ファイル」内のファイル「2010 時間割編成システム（3 台 2010 インストールファイル複写無し）.xlsm」を開くと次の[図１]の画面になります。

[図１1]



上の[図１1]の画面のコマンドボタン

時間割編成システム　コンピューター3台登録処理開始ボタン

をクリックするとマクロによって自動的に登録書き換え処理が次々実行されていきます。コマンドボタンをクリックして登録書き換え処理実行し、登録・書き換え処理実行終了すると再び上の[図１1]の画面が表示されたら書き換え処理は完了となります。

登録・書き換え処理が完了したらこの書き換え処理のためのファイル「2010 時間割編成システム（3 台 2010 インストールファイル複写無し）.xlsm」

を閉じてください。閉じる際、ファイルは保存してもしなくても結構です。
　この登録・書き換え登録処理前のファイル名は

NO	ファイル名
1	150ninn60kurasujikannwarisisutemu3daitourokuver1.xlsm
2	150ninn60kurasujikannwarisisutemukannibann3daitourokuver1.xlsm
3	150ninn60kurasukomanyuuryokusisutemu3daitourokuver1.xlsm
4	150ninn60kurasujikannwarisisutemuseigyo3daitourokuver1.xlsm

ようにアルファベットの小文字と数字混じりになっていますが、この登録・書き換え処理後のファイル名は、各 NO に対応して、

NO	ファイル名
1	150人60クラス時間割システム3台登録Ver1
2	150人60クラス時間割システム簡易版3台登録Ver1
3	150人60クラスコマ入力システム3台登録Ver1
4	150人60クラス時間割システム制御3台登録Ver1

のように数字、漢字、カタカナ、アルファベット混じりとなります。

なお、登録書き換え処理が済んだ後は、フォルダー
「150 人 60 クラス 3 台時間割編成ファイル」
内の全てのファイルを DVD または BRD 等あるいは USB にフォルダー
「150 人 60 クラス 3 台時間割編成ファイル」
をごとまるまるコピーして保存しておきましょう。パソコンにトラブルやファイルの編集作業でトラブルが発生した際、対処できるようにしておくためです。
また、登録・書き換え処理が済み各ファイルを開く場合、登録書き換えを実行したフォルダー
「150 人 60 クラス 3 台時間割編成ファイル」
内では開かないで、つねに更に別のフォルダーを D ドライブに作成し、
そこにコピーしてそこで開いてファイルの処理編集をおこなうようにしてください。おお元となるフォルダー
「150 人 60 クラス 3 台時間割編成ファイル」の各ファイルを守るためです。

3.エクセルファイル「150 人 60 クラス時間割システム 3 台登録 Ver1.xlsm」のユーザーフォームの表示設定について：
「150 人 60 クラス 3 台時間割編成ファイル」の登録・書き換え処理が済んだら、とくにファイル「150 人 60 クラス時間割システム 3 台登録 Ver1.xlsm」を開き、先ず、ユーザーフォームの表示設定を次のようにしてください。

（1）Windows11 または Windows10 の場合：
OS が Windows11 や Windows10 でディスプレイが 15.6 インチのパソコンを使用しているという前提で話を進めさせていただきます。
ファイル「150 人 60 クラス時間割システム 3 台登録 Ver1.xlsm」を開きファイルを立ち上げていくと、シート「コマ入力乱数表示テーブル」が表示されて次の［図１４］の画面のようになります。

［図１４］

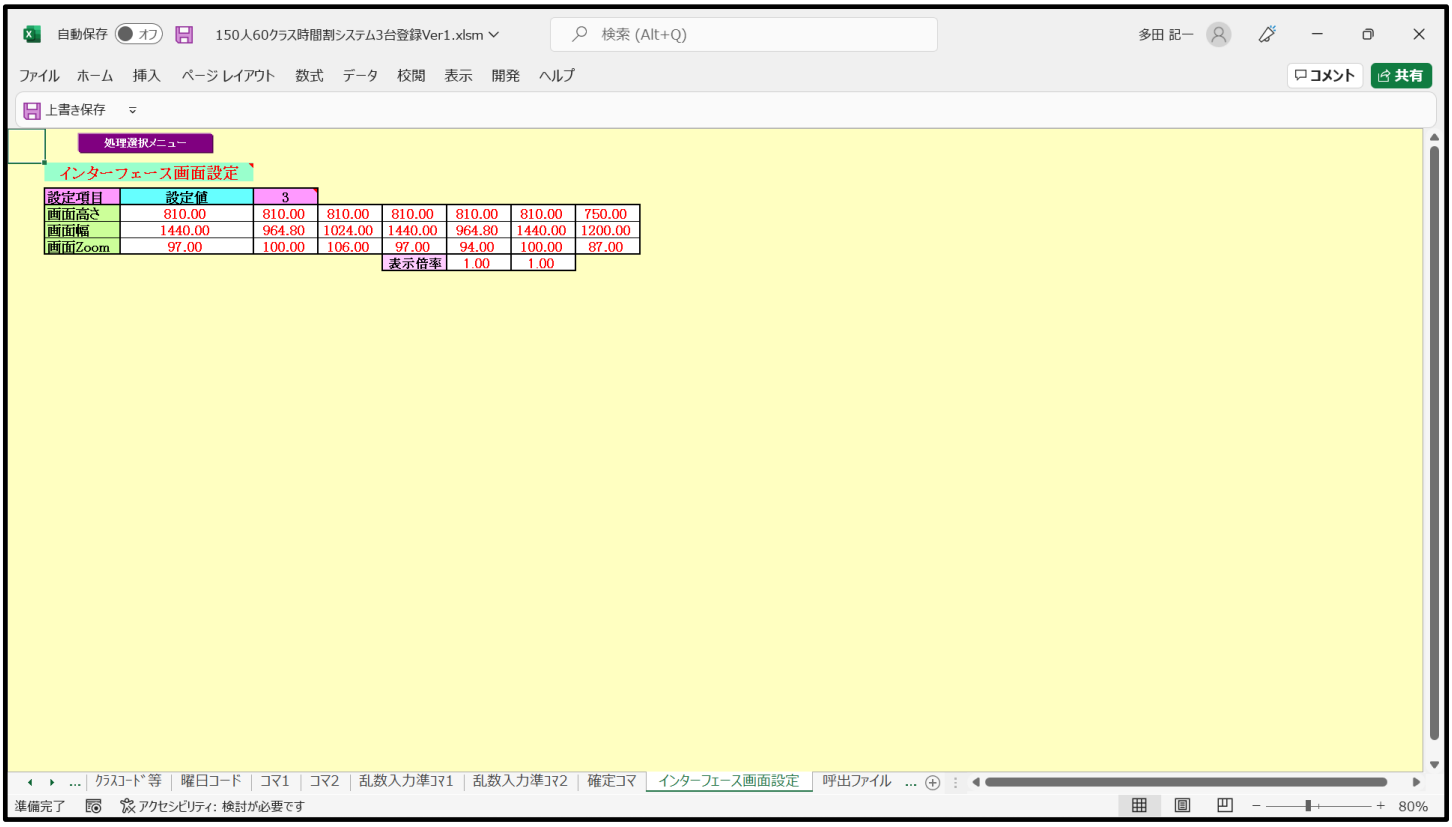
上の［図１４］の画面においてコマンド 処理選択メニュー ををクリックするとユーザーフォーム「時間割選択処理」表示され、タブ 時間割シート選択 を選択すると次の[図１５]画面のようになります。

［図１５］

上の[図１５]画面のコマンドボタン インターフェース画面設定 をクリッ

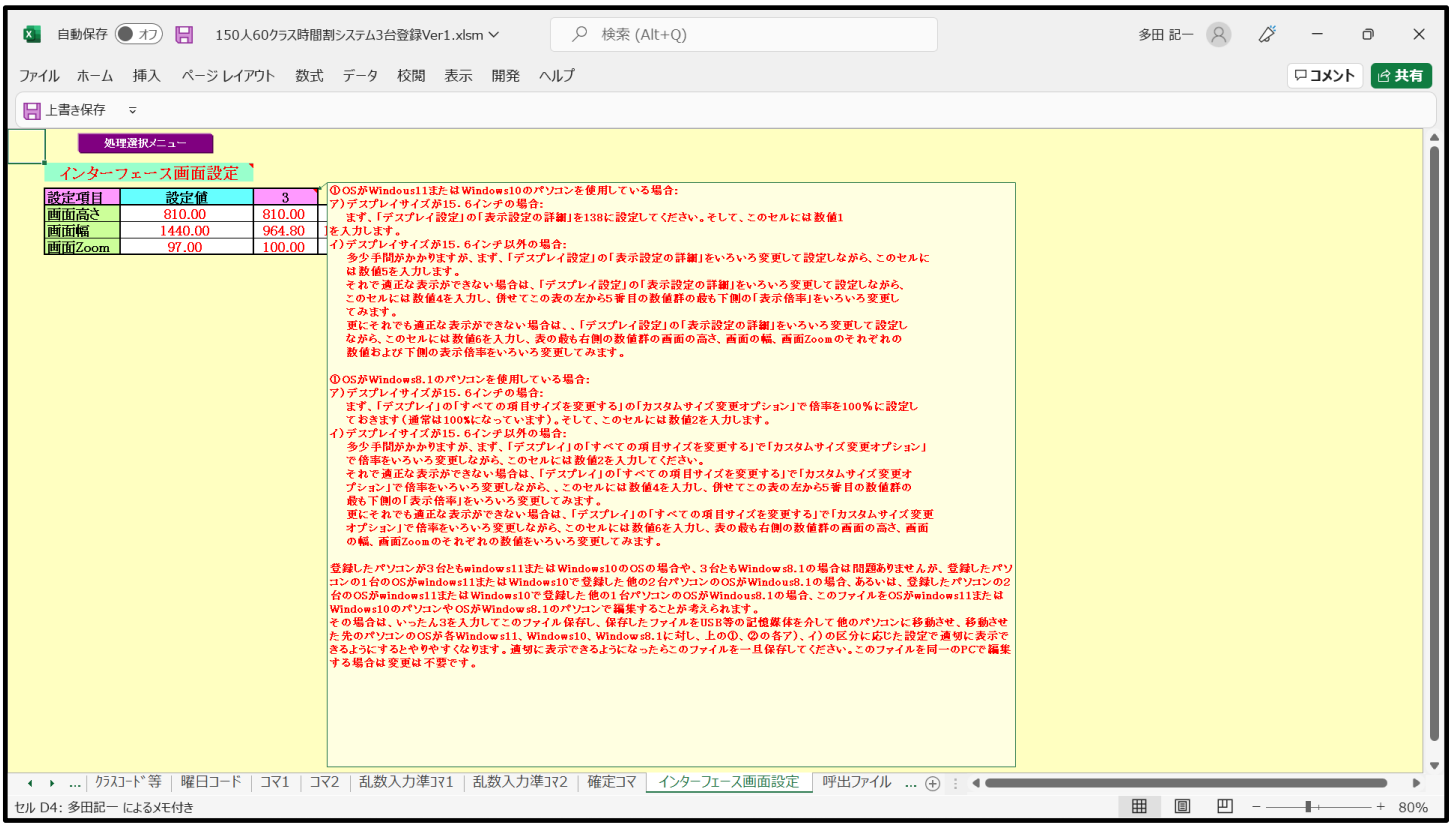
クするとシート「インターフェース画面設定」が表示されて次の[図１６]の画面のようになります。

[図１６]



上の[図１６]の画面のセル 3 にポインターを近づけると、次の[図１７]画面のようになります。
ただし、シートの画面の表示倍率は 80%です。

[図１７]



となり、コメント

①OSがWindous11またはWindows10のパソコンを使用している場合:
ア)デスプレイサイズが15.6インチの場合:
まず、「デスプレイ設定」の「表示設定の詳細」を138に設定してください。そして、このセルには数値1を入力します。
イ)デスプレイサイズが15.6インチ以外の場合:
多少手間がかかりますが、まず、「デスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値5を入力します。
それで適正な表示ができない場合は、「デスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値4を入力し、併せてこの表の左から5番目の数値群の最も下側の「表示倍率」をいろいろ変更してみます。
更にそれでも適正な表示ができない場合は、、「デスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値6を入力し、表の最も右側の数値群の画面の高さ、画面の幅、画面Zoomのそれぞれの数値および下側の表示倍率をいろいろ変更してみます。

①OSがWindows8.1のパソコンを使用している場合:
ア)デスプレイサイズが15.6インチの場合:
まず、「デスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」の「カスタムサイズ変更オプション」で倍率を100%に設定しておきます(通常は100%になっています)。そして、このセルには数値2を入力します。
イ)デスプレイサイズが15.6インチ以外の場合:
多少手間がかかりますが、まず、「デスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値2を入力してください。
それで適正な表示ができない場合は、「デスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、、このセルには数値4を入力し、併せてこの表の左から5番目の数値群の最も下側の「表示倍率」をいろいろ変更してみます。
更にそれでも適正な表示ができない場合は、「デスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値6を入力し、表の最も右側の数値群の画面の高さ、画面の幅、画面Zoomのそれぞれの数値をいろいろ変更してみます。

登録したパソコンが3台ともwindows11またはWindows10のOSの場合や、3台ともWindows8.1の場合は問題ありませんが、登録したパソコンの1台のOSがwindows11またはWindows10で登録した他の2台パソコンのOSがWindous8.1の場合、あるいは、登録したパソコンの2台のOSがwindows11またはWindows10で登録した他の1台パソコンのOSがWindous8.1の場合、このファイルをOSがwindows11またはWindows10のパソコンやOSがWindows8.1のパソコンで編集することが考えられます。
その場合は、いったん3を入力してこのファイル保存し、保存したファイルをUSB等の記憶媒体を介して他のパソコンに移動させ、移動させた先のパソコンのOSが各Windows11、Windows10、Windows8.1に対し、上の①、②の各ア)、イ)の区分に応じた設定で適切に表示できるようにするとやりやすくなります。適切に表示できるようになったらこのファイルを一旦保存してください。このファイルを同一のPCで編集する場合は変更は不要です。

が表示されます。

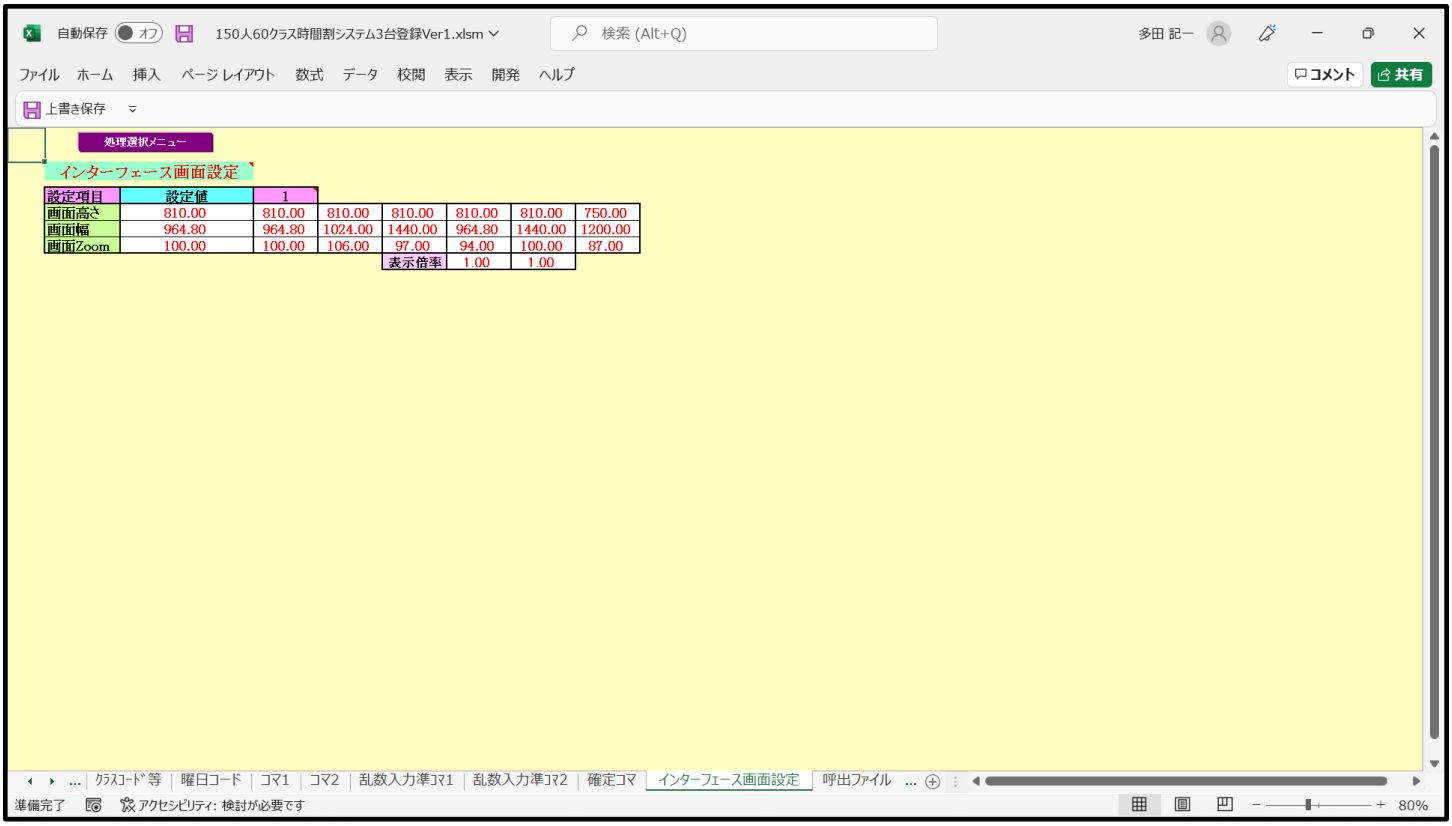
さて、上の[図１６]の画面の状況で、コマンドボタン 処理選択メニュー をクリックするとユーザーフォーム「時間割選択処理」が表示されて次の[図１８]の画面のようになります。

[図１８]

上の[図１８]の画面のユーザーフォーム「時間割選択処理」の表示はやや小さ目の表示となっていますがデフォルトではこのような設定になっています。

しかし、上の[図１６]画面のセル 3 の値を 1 に変更し、次の[図１９]の画面ようにしてみます。

[図１９]



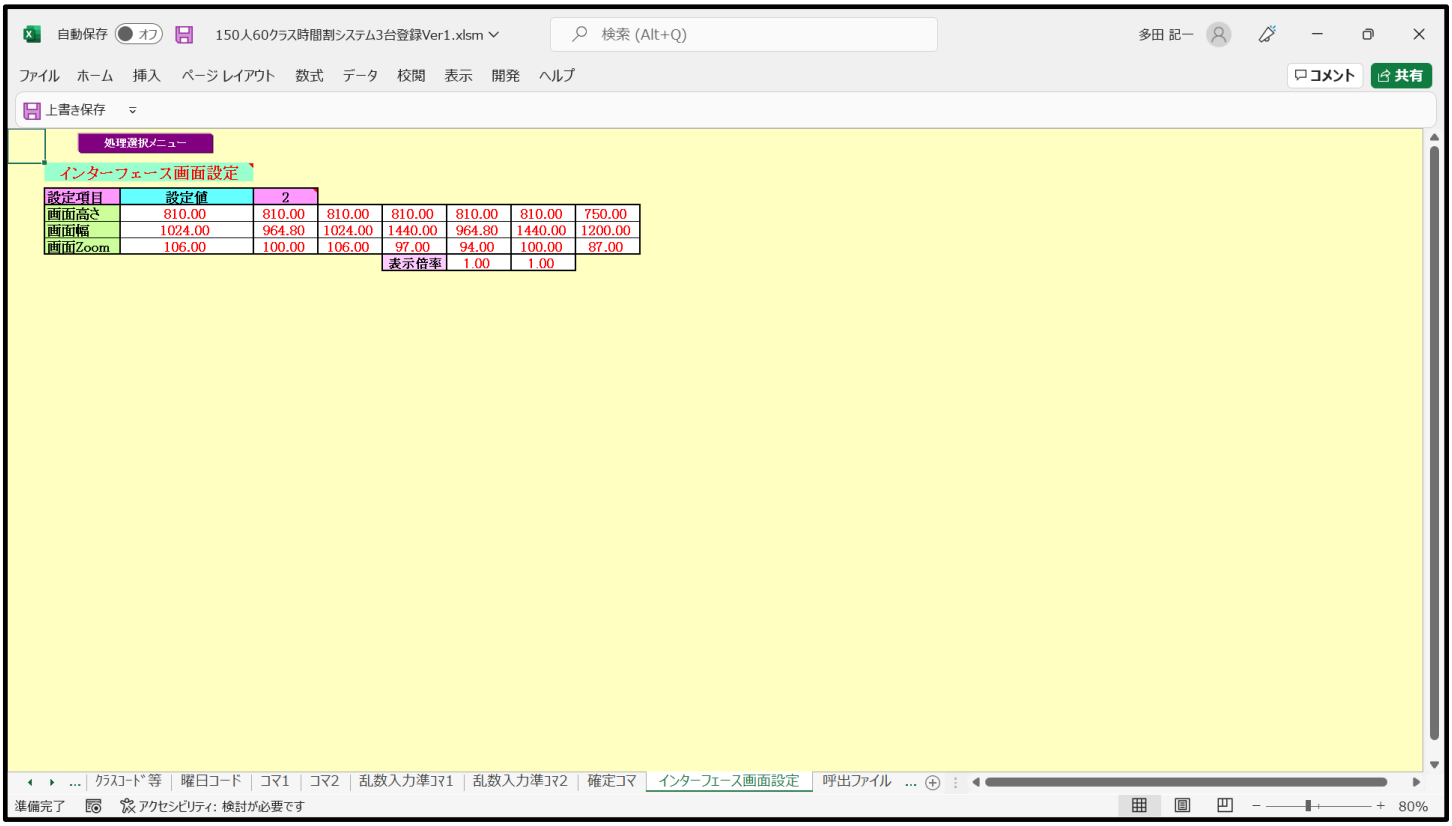
設定項目	設定値	1					
画面高さ	810.00	810.00	810.00	810.00	810.00	810.00	750.00
画面幅	964.80	964.80	1024.00	1440.00	964.80	1440.00	1200.00
画面Zoom	100.00	100.00	106.00	97.00	94.00	100.00	87.00
				表示倍率	1.00	1.00	

上の[図１９]の画面の状況でコマンドボタン 処理選択メニュー をクリックすると次の[図２０]の画面ようになり、適正なサイズのユーザーフォームの表示となります。
OS が Windows11 や Windows10 でディスプレイが 15.6 インチのパソコンを使用されている場合には、このように設定してください。

[図２０]

因みに、更に上の[図２０]の画面セル 1 の値を 2 に変更し、次の[図２１]の画面のようにしてみます。

[図２１]



上の次の[図２１]の画面の状況でコマンドボタン 処理選択メニュー をクリックする、次の[図２２]の画面のようになります。

[図２２]

上の[図２２]の画面では正常なユーザーフォームの表示よりもかなり大きめの表示となってしまいます。

ディスプレイが 15.6 インチ以外のパソコンを使用されている場合は、上の[図１７]の画面のコメントをよくご覧になって設定をおこなってください。

（２）Windopws8.1 の場合：
ファイルを立ち上げていくと次の[図２1]の画面のようにシート「コマ入力乱数表示テーブルが表示されます。

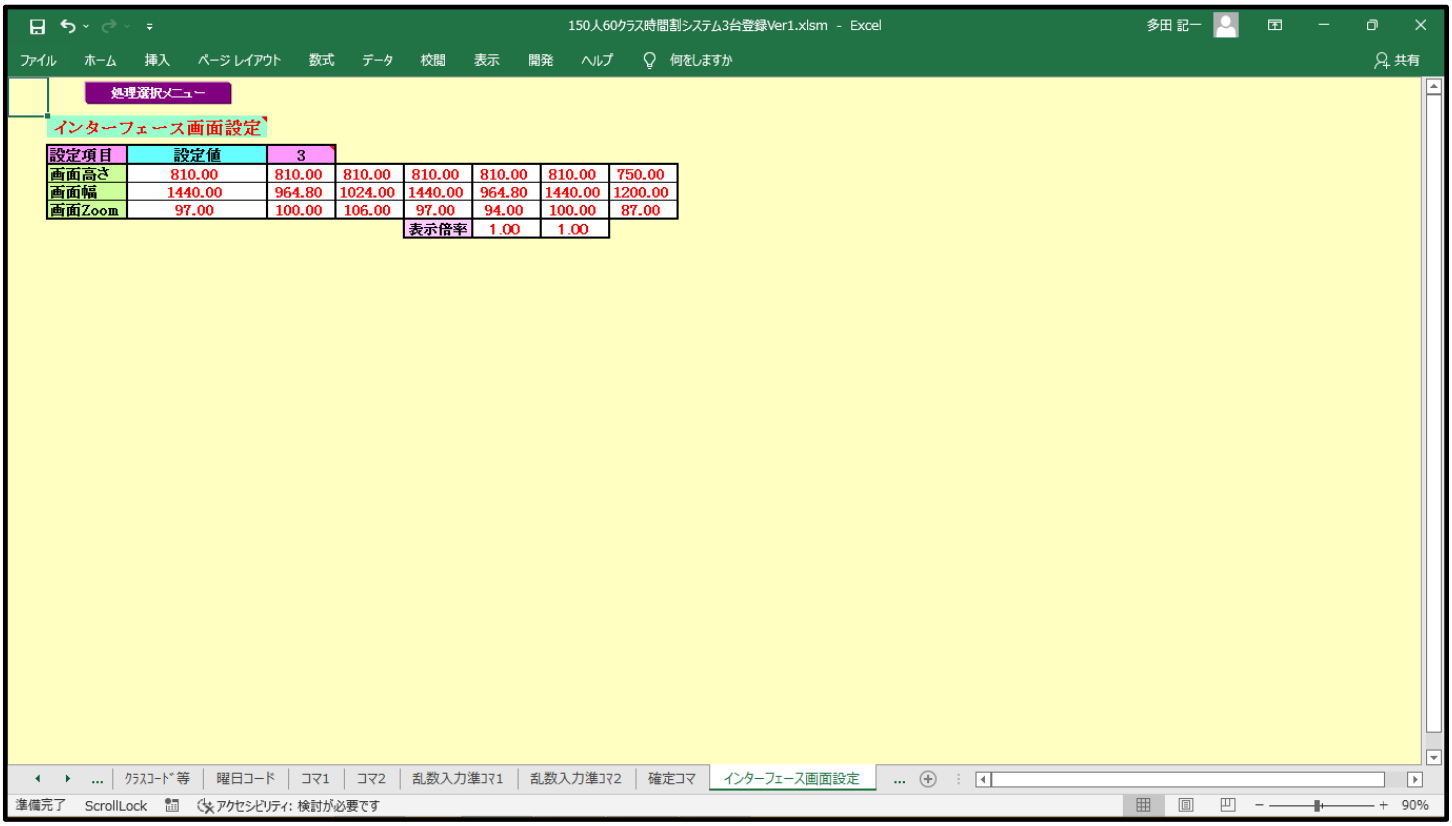
[図２1]

上の[図２1]画面において、コマンドボタン 処理選択メニュー をクリックすると、ユーザーフォーム「時間割選択処理」表示され、表タブ 時間割シート選択 を選択すると次の[図２４]画面のようになります。

[図２４]

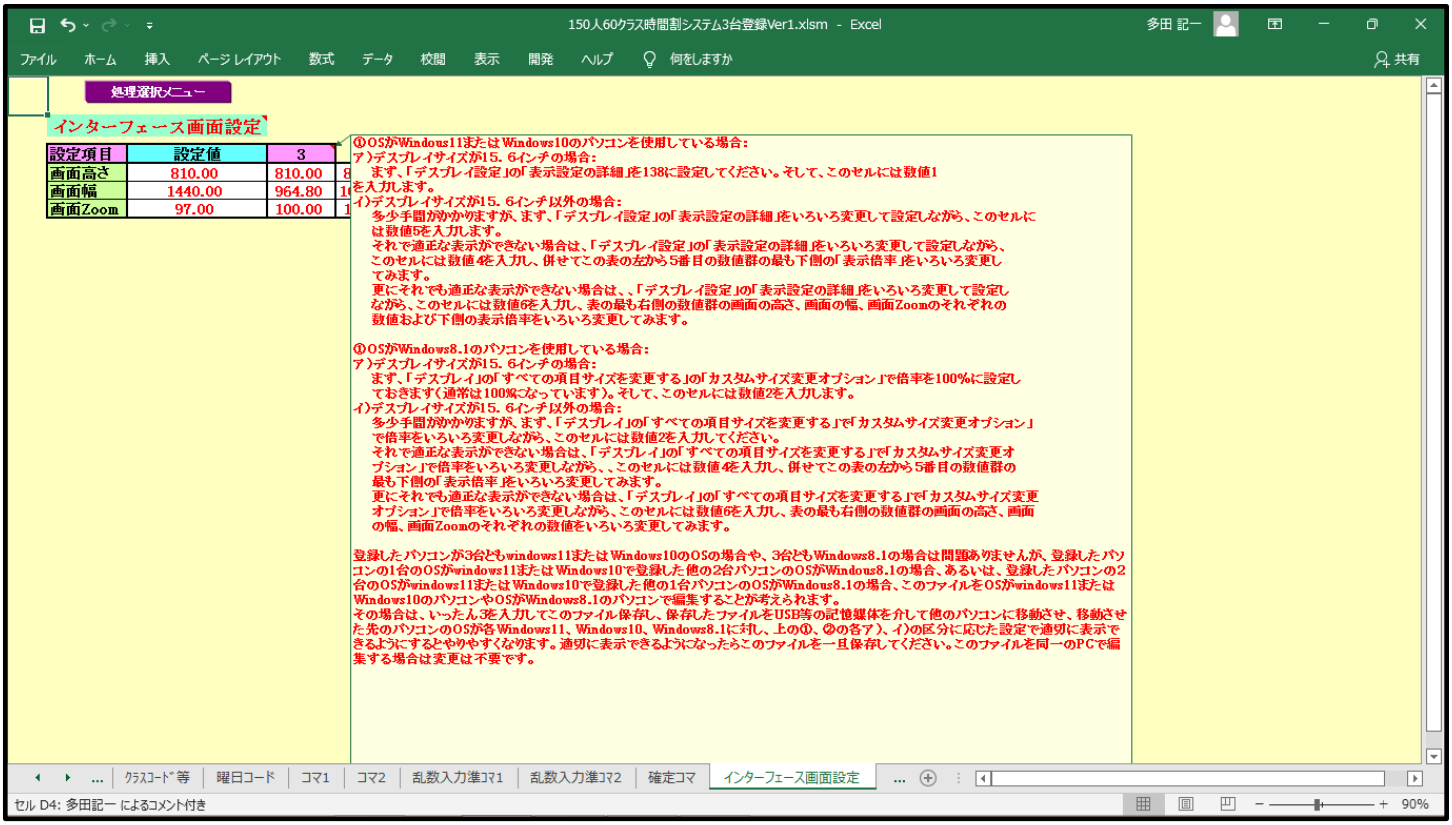
上の画面のコマンドボタン インターフェース画面設定 をクリックすると
シート「インターフェース画面設定」が選択されて次の[図２５]画面のようになります。

[図２５]



上の[図２５]画面の 3 のセルにポインターを近づけると次の[図２６]画面のようにコメントが表示されます。ただし、シートの表示倍率を 90%にしたものです。

[図２６]



コメント部分を拡大して表示すると、

①OSがWindows11またはWindows10のパソコンを使用している場合:
ア)デスプレイサイズが15. 6インチの場合:
まず、「デスプレイ設定」の「表示設定の詳細」を138に設定してください。そして、このセルには数値1を入力します。
イ)デスプレイサイズが15. 6インチ以外の場合:
多少手間がかかりますが、まず、「デスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値5を入力します。
それで適正な表示ができない場合は、「デスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値4を入力し、併せてこの表の左から5番目の数値群の最も下側の「表示倍率」をいろいろ変更してみます。
更にそれでも適正な表示ができない場合は、、「デスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値6を入力し、表の最も右側の数値群の画面の高さ、画面の幅、画面Zoomのそれぞれの数値および下側の表示倍率をいろいろ変更してみます。

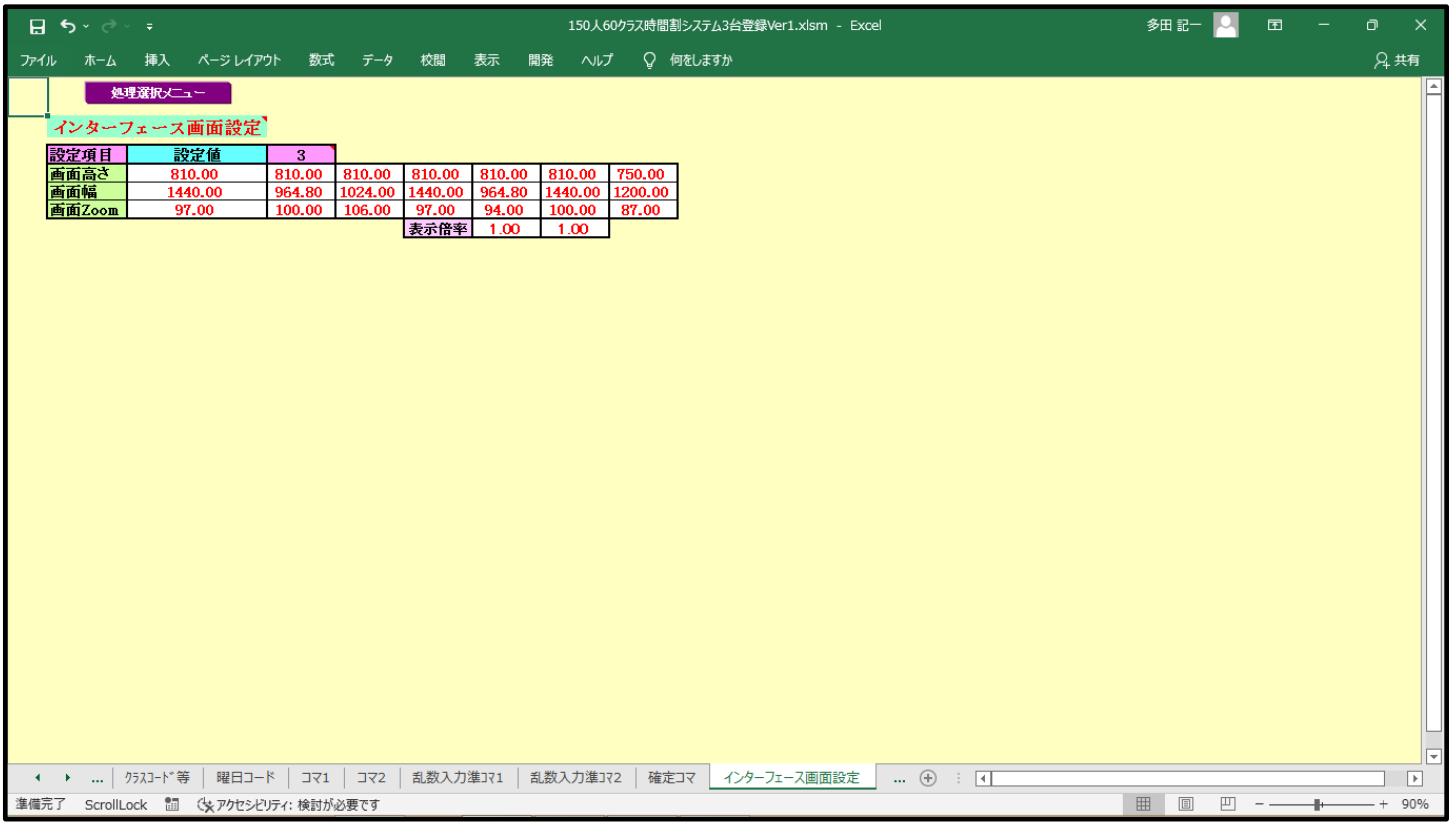
①OSがWindows8.1のパソコンを使用している場合:
ア)デスプレイサイズが15. 6インチの場合:
まず、「デスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」の「カスタムサイズ変更オプション」で倍率を100%に設定しておきます(通常は100%になっています)。そして、このセルには数値2を入力します。
イ)デスプレイサイズが15. 6インチ以外の場合:
多少手間がかかりますが、まず、「デスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値2を入力してください。
それで適正な表示ができない場合は、「デスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、、このセルには数値4を入力し、併せてこの表の左から5番目の数値群の最も下側の「表示倍率」をいろいろ変更してみます。
更にそれでも適正な表示ができない場合は、「デスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値6を入力し、表の最も右側の数値群の画面の高さ、画面の幅、画面Zoomのそれぞれの数値をいろいろ変更してみます。

登録したパソコンが3台ともwindows11またはWindows10のOSの場合や、3台ともWindows8.1の場合は問題ありませんが、登録したパソコンの1台のOSがwindows11またはWindows10で登録した他の2台パソコンのOSがWindows8.1の場合、あるいは、登録したパソコンの2台のOSがwindows11またはWindows10で登録した他の1台パソコンのOSがWindows8.1の場合、このファイルをOSがwindows11またはWindows10のパソコンやOSがWindows8.1のパソコンで編集することが考えられます。
その場合は、いったん3を入力してこのファイル保存し、保存したファイルをUSB等の記憶媒体を介して他のパソコンに移動させ、移動させた先のパソコンのOSが各Windows11、Windows10、Windows8.1に対し、上の①、②の各ア)、イ)の区分に応じた設定で適切に表示できるようにするとやりやすくなります。適切に表示できるようになったらこのファイルを一旦保存してください。このファイルを同一のPCで編集する場合は変更は不要です。

のようになります。

さて、次の[図２７]の画面のシート「インターフェース画面設定」の状態で

[図２７]



においてボタン 処理選択メニュー をクリックすると次の[図２８]の画面ようにユーザーフォーム「時間割処理選択」表示されます。

[図２８]

ただし、上のユーザーフォーム「時間割処理選択」の表示はやや小さ目ですが、デフォルトではこのような設定にしてあります。

しかし、上の[図２８]の画面で

設定値	3

の右側のセルの値を

設定値	2

とし、次の[図２９]画面ようにしてみます。

[図２９]

上の[図２９]画面の状況でコマンドボタン

処理選択メニュー

をクリックすると、次の[図３０]画面のようになります。

[図３０]

上の[図３０]のユーザーフォーム「時間割処理選択」表示は、適正な正常サイズの表示となります。
OS が Windows8.1 のディスプレイサイズが 15.6 インチのワイド画面のパソコンを使用する場合の設定では、このように設定します。
しかし、ディスプレイサイズが 15.6 インチ以外のパソコンを使用されている場合は、上の[図２６]画面のコメントをよくご覧になって設定をおこなってください。

因みに、上の[図２９]の画面で 設定値 2 の右側のセルの値を

設定値 1 と変更してシート「インターフェース画面設定」の状態を次[図３１]の画面のようにしてみます。

[図３１]

そして、上の[図３１]の画面のコマンドボタン

をクリックすると、ユーザーフォーム「時間割処理選択」が次の[図３２]の画面のように表示されます。

[図３２]

上の[図１２]の画面のユーザーフォーム「時間割処理選択」の表示はかなり小さくなってしまいます。

４．エクセルファイル「150 人 60 クラス時間割システム制御 3 台登録 Ver1.xlsm」のユーザーフォームの表示設定について：

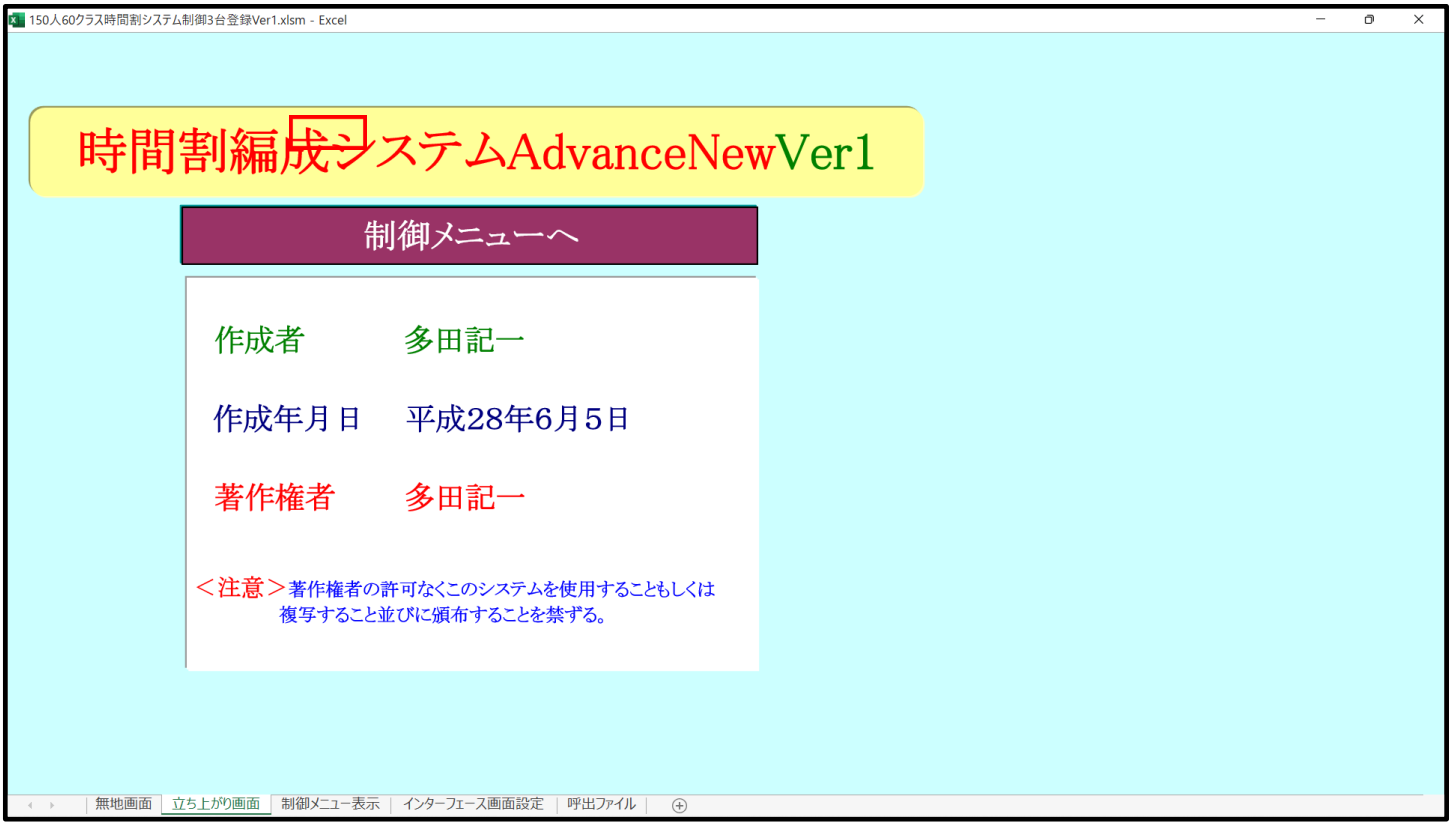
「150 人 60 クラス 3 台時間割編成ファイル」の登録・書き換え処理が済んだら、エクセルファイル「150 人 60 クラス時間割システム制御 3 台登録 Ver1.xlsm」を開き、ユーザーフォームの表示設定も次のようにしてください。

（1）Winndows11 または Windows10 の場合：

OS が Windows11 や Windows10 でディスプレイが 15.6 インチのパソコンを使用しているという前提で話を進めさせていただきます。

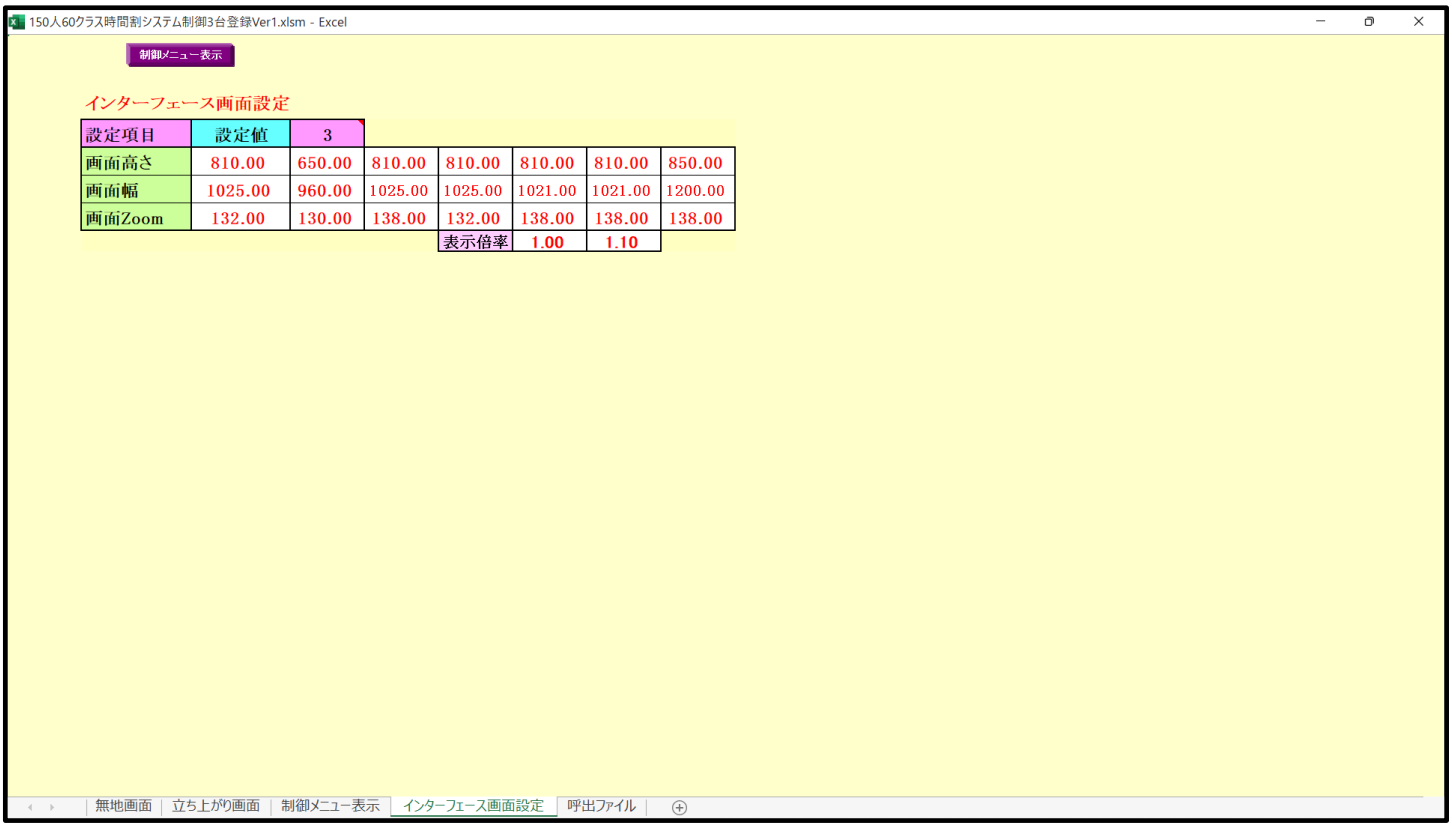
ファイル「150 人 60 クラス時間割システム制御 3 台登録 Ver1.xlsm」を開きファイルを立ち上げていくと、シート「イ立ち上がり画面」が表示されて次の［図３４]の画面のようになります。

[図３４]



上の［図３４]の画面の下側でシート「インターフェース画面設定」を選択すると次の[図３５]の画面のようになります。

[図３５]



上の[図３５の画面の表部分の設定を

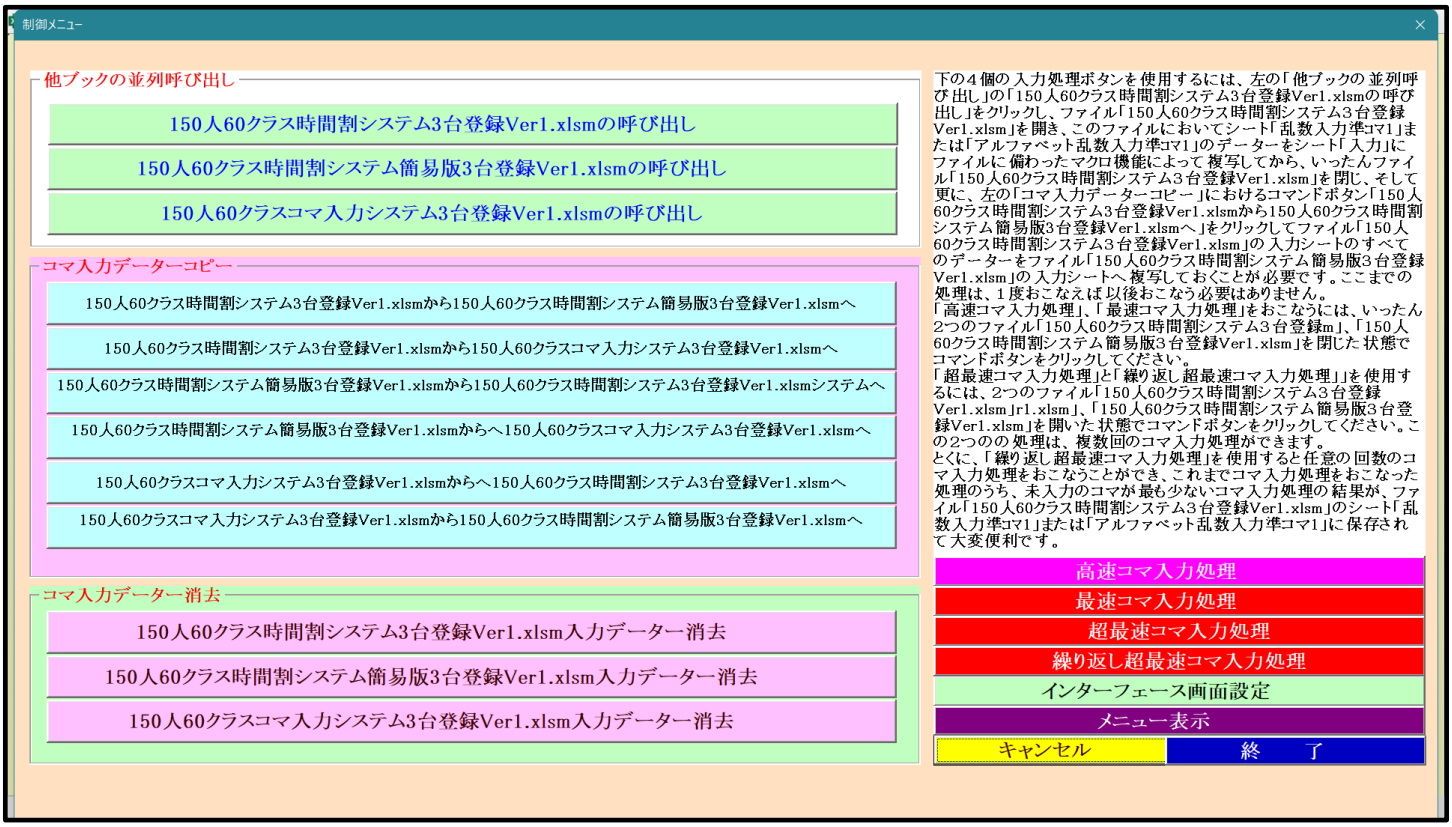
インターフェース画面設定

設定項目	設定値	1					
画面高さ	650.00	650.00	810.00	810.00	810.00	810.00	850.00
画面幅	960.00	960.00	1025.00	1025.00	1021.00	1021.00	1200.00
画面Zoom	130.00	130.00	138.00	132.00	138.00	138.00	138.00
				表示倍率	1.00	1.10	

と変更してコマンドボタン 制御メニュー表示 をクリックするとユーザーフォーム「制御メニュー」が表示されて次の[図３６]の画面のようになります。

[注]表の設定の変更は、[図３６]の画面の [　　] 内の数値を「3」から「1」に変えただけでできます。以下同様です。

[図３６]



これは適正な画面設定です。従いまして、OS が Windows11 や Windows10 でディスプレイが 15.6 インチのパソコンを使用されている場合にはこのように設定してください。

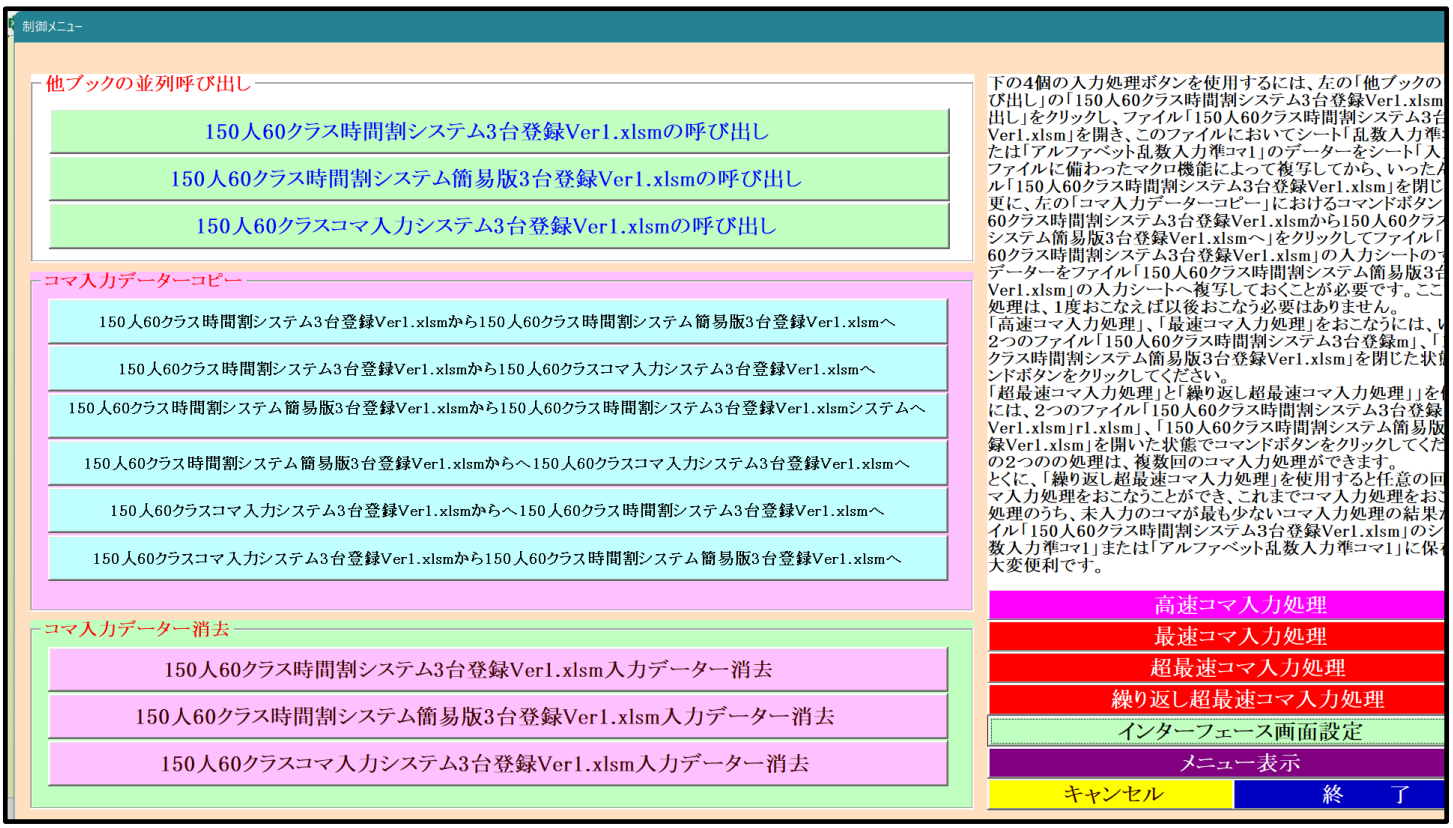
また、上の[図３５]の画面の表部分の設定を

インターフェース画面設定

設定項目	設定値	2					
画面高さ	810.00	650.00	810.00	810.00	810.00	810.00	850.00
画面幅	1025.00	960.00	1025.00	1025.00	1021.00	1021.00	1200.00
画面Zoom	138.00	130.00	138.00	132.00	138.00	138.00	138.00
				表示倍率	1.00	1.10	

と変更してコマンドボタン 制御メニュー表示 をクリックするとユーザーフォーム「制御メニュー」が表示されて次の[図３７]の画面のようになります。

[図３７]



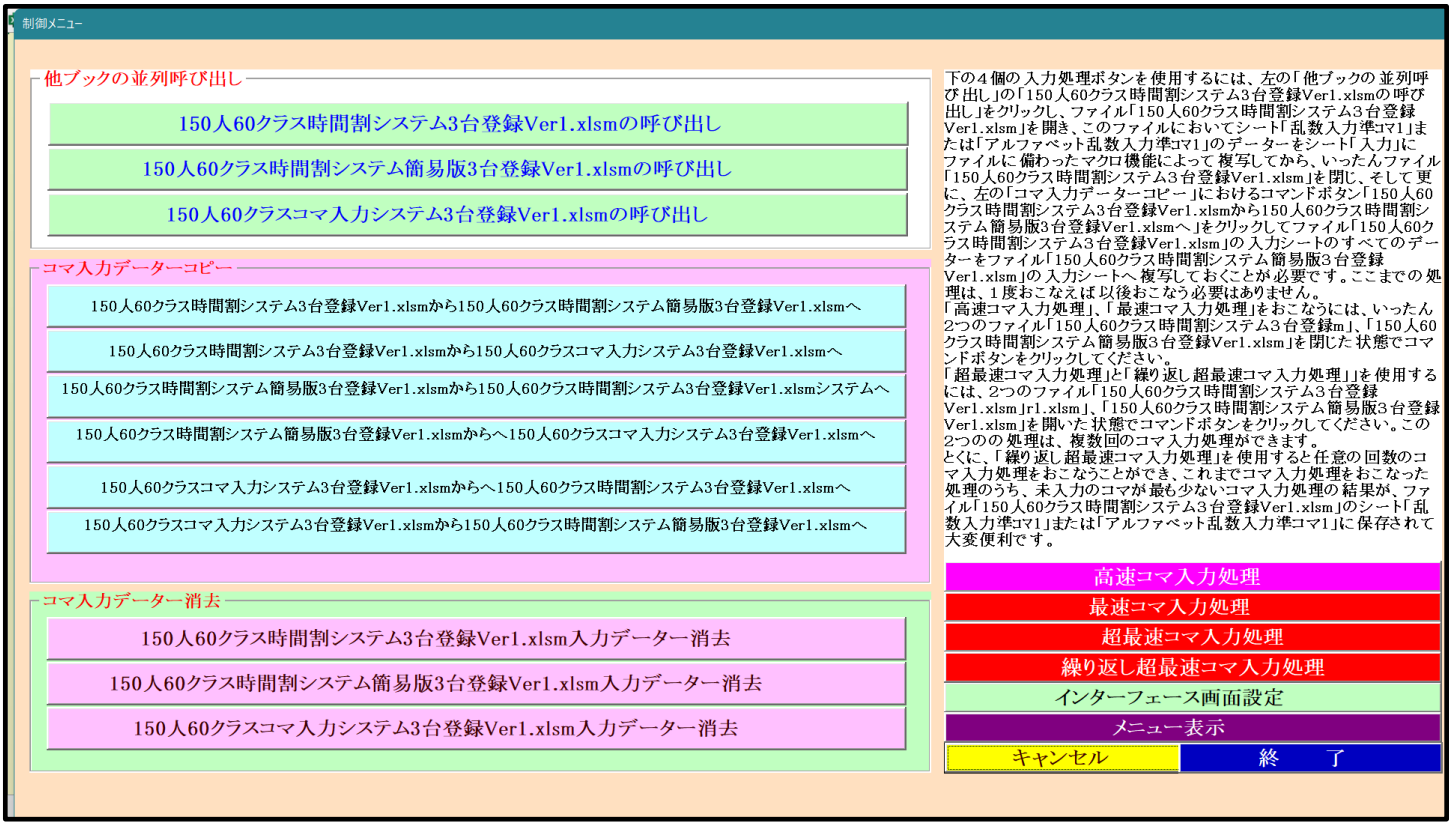
このユーザーフォームの設定では表示倍率が大きすぎて編集がしずらくなってしまいます。
また因みに、設定を

インターフェース画面設定

設定項目	設定値	3					
画面高さ	810.00	650.00	810.00	810.00	810.00	810.00	850.00
画面幅	1025.00	960.00	1025.00	1025.00	1021.00	1021.00	1200.00
画面Zoom	132.00	130.00	138.00	132.00	138.00	138.00	138.00
				表示倍率	1.00	1.10	

としてコマンドボタン 制御メニュー表示 をクリックするとユーザーフォーム「制御メニュー」が表示されて次の[図３８]の画面のようになります。

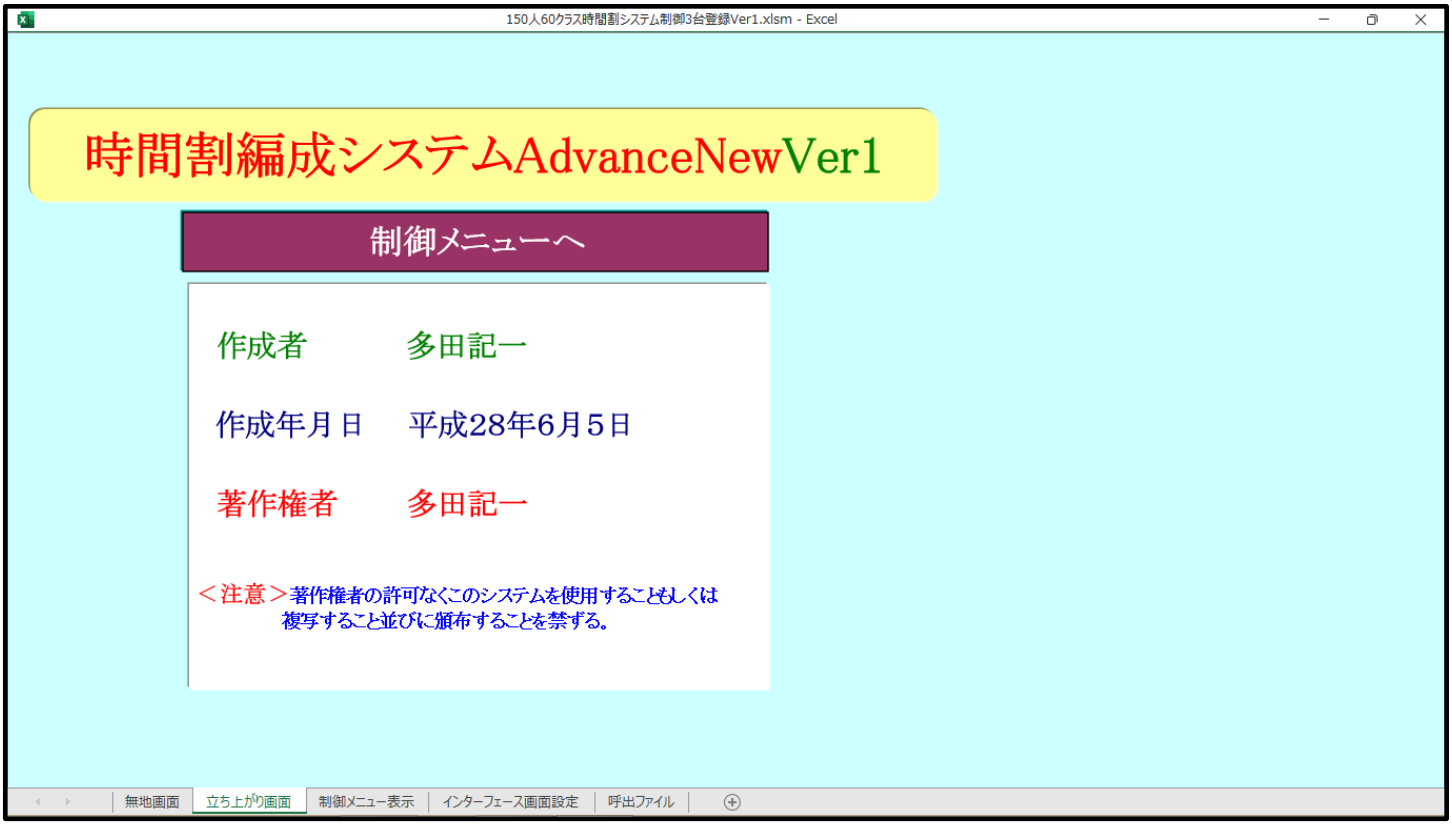
[図３８]



これは、適正な画面設定よりやや表示倍率が大きくなっていますが、編集するにあたっては許容範囲の表示といえるかとおもいます。ですからデフォルトではこのような設定となっています。

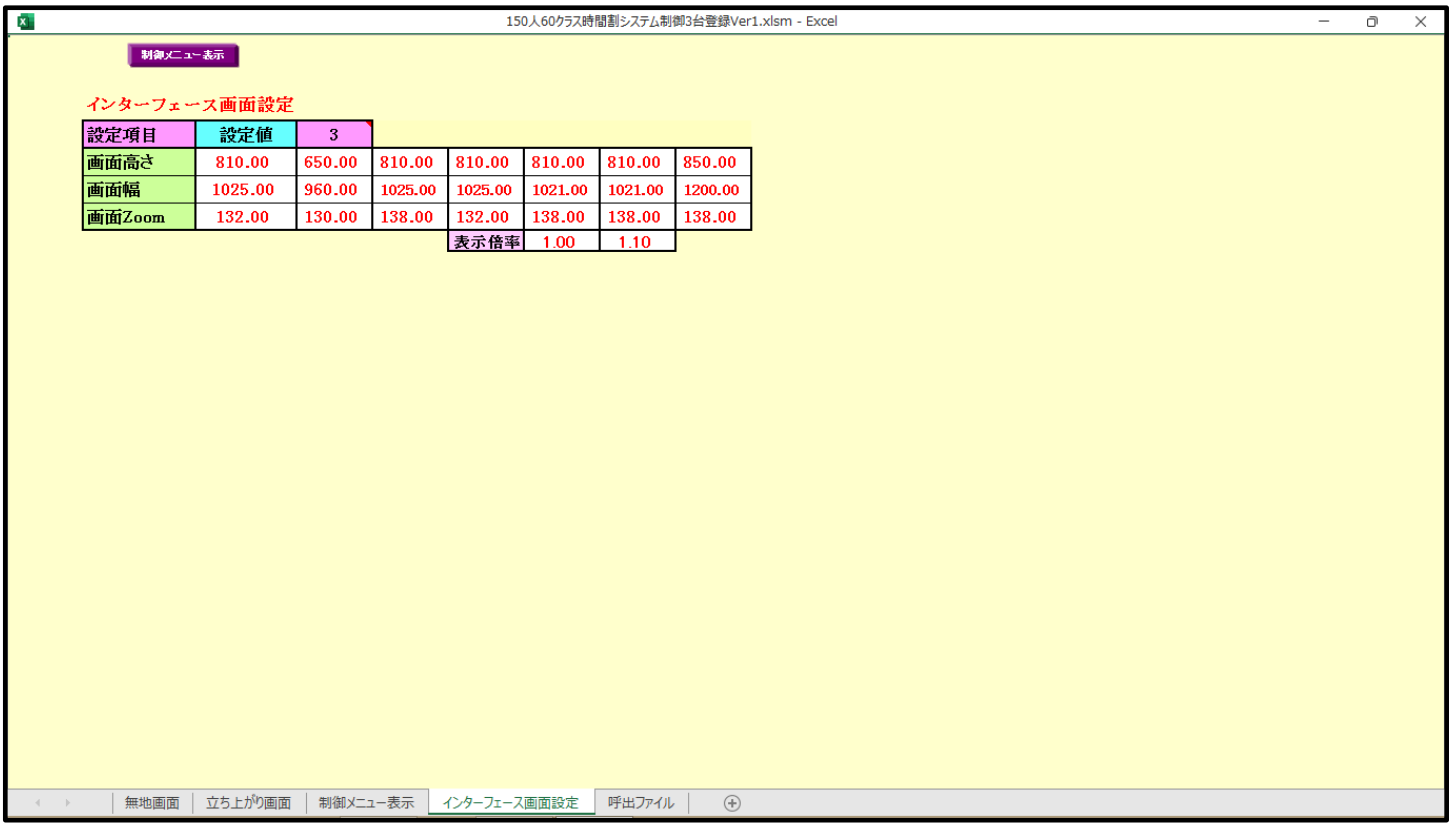
（２）Windopws8.1 の場合：
ディスプレイが 15.6 インチのパソコンを使用しているという前提で話を進めさせていただきます。
「150 人 60 クラス時間割システム制御 3 台登録 Ver1.xlsm」を開きファイルを立ち上げていくと、シート「立ち上がり画面」が表示されて次の［図３９]の画面のようになります。

[図３９]



上の［図３９]の画面の下側でシート「インターフェース画面設定」を選択すると次の[図４０]の画面のようになります。

[図４０]



上の[図４０]の画面の表部分の設定を

インターフェース画面設定

設定項目	設定値	1					
画面高さ	650.00	650.00	810.00	810.00	810.00	810.00	850.00
画面幅	960.00	960.00	1025.00	1025.00	1021.00	1021.00	1200.00
画面Zoom	130.00	130.00	138.00	132.00	138.00	138.00	138.00
				表示倍率	1.00	1.10	

と変更してコマンドボタン 制御メニュー表示 をクリックするとユーザーフォーム「制御メニュー」が表示されて次の[図４１]の画面のようになります。

[図４１]

これは表示幅が狭くて適正な表示とはほど遠い表示です。
また、上の[図４０]の画面の表部分の設定を

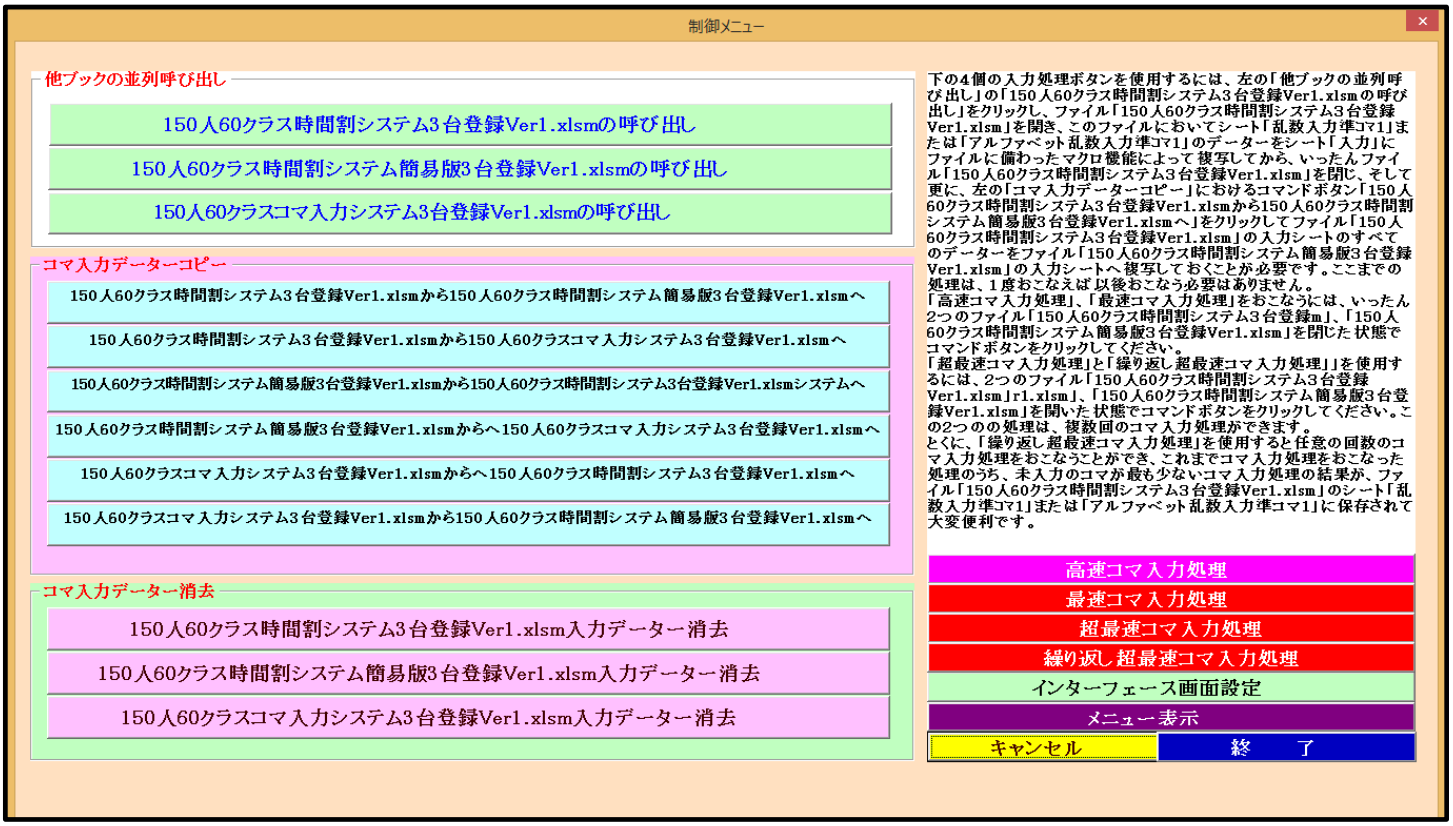
インターフェース画面設定

設定項目	設定値	2					
画面高さ	810.00	650.00	810.00	810.00	810.00	810.00	850.00
画面幅	1025.00	960.00	1025.00	1025.00	1021.00	1021.00	1200.00
画面Zoom	138.00	130.00	138.00	132.00	138.00	138.00	138.00
				表示倍率	1.00	1.10	

と変更してコマンドボタン 制御メニュー表示 をクリックするとユーザーフォーム「制御メニュー」が表示さ

れて次の[図４２]の画面のようになります。

[図４２]



となり、適正な表示となります。従いまして、OS が Windopws8.1 でディスプレイが 15.6 インチのパソコンをご使用される場合には、このように設定してください。
因みに設定を

インターフェース画面設定

設定項目	設定値	3					
画面高さ	810.00	650.00	810.00	810.00	810.00	810.00	850.00
画面幅	1025.00	960.00	1025.00	1025.00	1021.00	1021.00	1200.00
画面Zoom	132.00	130.00	138.00	132.00	138.00	138.00	138.00
				表示倍率	1.00	1.10	

としてコマンドボタン

をクリックするとユーザーフォーム「制御メニュー」が表示されて次の[図４３]の画面のようになります。

[図４３]

となり、画面の表示倍率が小さくやや見難いですが編集するには許容範囲にあるかとおもいます。
デフォルトではこのように設定してあります。